

Sitecore CMS 6.2 コンテンツ オーサー リファレンス & クックブック

Sitecore のコンセプト概要と活用のための実践ガイド

目次

Chapter 1	イントロダクション	6
Chapter 2	Sitecore	8
2.1	ログイン	9
2.2	ロールと機能	11
2.3	アイテムのロック	12
2.3.1	ページ エディターでのアイテムのロック	12
	最小限の機能のページ エディター	12
	限定機能またはフル機能のページ エディター	12
	アイテムのロック解除	13
2.4	書式設定	14
Chapter 3	ページ エディターでのコンテンツ管理	15
3.1	ページ エディター	16
3.2	ページ エディターでアイテムを編集する	18
3.2.1	シンプル テキスト フィールドを編集する	18
3.2.2	リッチ テキスト フィールドを編集する	19
	リンクを挿入する	19
	画像を挿入する	20
	画像またはファイルをアップロードする	21
3.2.3	リッチ テキスト エディターでリッチ テキスト フィールドを編集する	22
3.2.4	ページ エディターで Word フィールドを編集する	23
	Word フィールドを構成する	23
	Word フィールドを編集する	26
3.2.5	画像アイテムを編集する	27
	画像のリンクを編集する	28
	画像を変更する	28
	画像のプロパティを編集する	29
3.3	ページ エディターで新規アイテムを作成する	31
3.3.1	アイテムを挿入する	31
3.4	コンテンツの削除	35
3.4.1	アイテムを削除する	35
Chapter 4	コンテンツ エディターでのコンテンツ管理	36
4.1	コンテンツ エディター	37
4.1.1	ページ エディターとコンテンツ エディター	37
4.1.2	コンテンツ ツリー	39
	コンテンツ ツリーで検索する	39
	抽出条件を追加する	40
	追加の抽出条件を削除する	41

4.1.3	コンテンツ エディターでロックする.....	41
	アイテムをロックする.....	41
	アイテムをロック解除する	42
4.2	コンテンツ エディターでアイテムを編集する	44
4.2.1	コンテンツ エディターでリッチ テキスト フィールドを編集する	44
4.2.2	コンテンツ エディターで Word フィールドを編集する.....	47
4.2.3	画像を使う.....	48
	画像を変更する	49
	画像をアップロードする.....	50
	画像のプロパティを編集する	50
	画像を編集する	51
4.3	コンテンツ エディターで新規アイテムを作成する.....	53
4.3.1	新規アイテムを作成する	53
	サブアイテムを挿入する.....	53
4.3.2	既存のアイテムを複製する	55
	アイテムを移動する.....	56
4.3.3	アイテムを他の場所にコピーする	57
4.3.4	テンプレートをもとにアイテムを作成する.....	58
	変更をプレビューする	60
4.4	コンテンツ エディターでアイテムを削除する	61
4.4.1	アイテムを削除する.....	61
Chapter 5	リッチ テキスト エディター	62
5.1	リッチ テキスト エディターを使う	63
5.1.1	テキストを編集する.....	63
	Microsoft Word からコンテンツを貼り付ける	63
5.1.2	リンクの挿入、削除、管理.....	64
	内部リンクを挿入する	64
	外部リンクを挿入する	65
	ハイパーリンクの管理	66
	リンクを削除する	67
Chapter 6	メディア ライブラリ.....	68
6.1	概要	69
	メディア ライブラリを開く.....	69
6.2	メディア ライブラリのユーザー インターフェース.....	71
6.2.1	メディア ライブラリで新しいフォルダーを作成する	72
6.3	メディア ファイルをアップロードする.....	73
6.3.1	ファイルのアップロード.....	73
6.3.2	ファイルのアップロード (高度な設定)	75
	複数のファイルをバッチ アップロードする.....	77
6.3.3	ドラッグ & ドロップでファイルをアップロードする.....	78

6.4	メディア アイテムを編集する	83
6.4.1	メディア ファイルとメディア アイテム.....	83
6.4.2	イメージ エディター	83
	メディア ブラウザ	84
6.4.3	編集のオプション	84
6.4.4	メディア アイテムの編集にドラッグ & ドロップを使用する	86
	ドラッグ & ドロップ アプリケーション オプション	86
	ドラッグ & ドロップ ウィンドウからファイルを編集する	87
6.5	メディア アイテムとバージョン管理	89
	バージョン管理されたメディア アイテムとバージョン管理されたメディア ファイル.....	89
6.5.1	メディア アイテムのバージョン 2 を作成する.....	90
6.5.2	バージョン管理可能なメディア ファイルを使う	91
	ドラッグ & ドロップのファイルをバージョン管理可能に設定する	91
	アップロード (高度な設定) を使ってアイテムをバージョン管理可能に設定する	92
Chapter 7	RSS フィード	93
7.1	RSS フィード	94
7.1.1	RSS フィードを設定する	94
	アイテムがもとになっているテンプレートを識別する	99
7.1.2	RSS フィードへのリンクを作成する	100
	RSS フィードをプレビューする	101
	さらに複雑なシナリオ.....	101
7.1.3	RSS フィードを購読する	103
7.2	Sitecore クライアント フィード.....	106
7.2.1	アイテム フィード	106
	Sitecore ワークフロー フィード.....	108
	RSS フィードを使う	109
7.3	セキュリティとクライアント RSS フィード.....	111
Chapter 8	コンテンツ エディターのワークフロー	112
8.1	ワークフロー	113
8.1.1	ワークフローを実装する	113
8.1.2	ワークフローを使う.....	114
	ワークフローに沿ってコンテンツ アイテムを送信する	114
8.2	ワークボックス.....	117
	ワークボックスを使用する	117
	複数のワークフロー	118
Chapter 9	インターフェースのカスタマイズ	120
9.1	ブラウザーを使う.....	121
9.1.1	全画面表示モード	121
9.1.2	Sitecore デスクトップ.....	121
	デスクトップの背景を変更する.....	121

パスワードを変更する.....	122
個人情報を変更する	123
地域および言語オプションを変更する	124
デフォルトの設定を使う	125
9.2 コンテンツ エディターをカスタマイズする	126
9.2.1 リボンをカスタマイズする	126
リボンを非表示にする	126
タブを非表示にする.....	126
自分用のツールバーを作成する	127
9.2.2 コンテンツ ツリーをカスタマイズする.....	128
コンテンツ ツリーを非表示にする	128
コンテンツ ツリーのサイズを変更する	129
クイック アクション バーを構成する	129
9.2.3 アプリケーション オプションを変更する	130
アイテムの表示名を設定する.....	133
9.3 ページ エディターをカスタマイズする.....	135
9.3.1 リボンを使う.....	135
リボンを非表示にする	135
インターフェースを変更する.....	135

Chapter 1

イントロダクション

コンテンツ オーサー クックブックはコンテンツ作成者が Sitecore CMS を使用して日々の業務を行う際に必要な情報を提供するように制作されています。このクックブックは基本的なコンピューター知識のみをもつコンテンツ作成者を対象として Sitecore が備えるツールの使用に関して解説することを主な目的としています。しかし、この文書で解説されている内容は、経験とテクニカル スキルを備えたコンテンツ作成者であっても、Sitecore の提供するツールに関しては知識のない方には有益です。

コンテンツ作成者は組織の Web サイトまたはイントラネットの既存のコンテンツを更新したり、新規のコンテンツを作成したりする必要があります。このクックブックはそれらの作業をページ エディターとコンテンツ エディターという Sitecore の 2 つのツールを使用して実行するための方法を説明しています。またこれらのツールを使用して既存のアイテムを編集したり、新規のアイテムを作成したりする具体的な方法について解説します。また Sitecore が備えるさらに進んだ使用法や機能についても紹介します。

このコンテンツ オーサー クックブックには次の章があります：

- **Chapter 1 — イントロダクション**
この章はこのマニュアルの内容、目的、対象とする読者について説明しています。
- **Chapter 2 — Sitecore**
Sitecore の基本的な機能について紹介しています。これにはアイテムのロックや書式設定などがあります。
- **Chapter 3 — ページ エディターでのコンテンツ管理**
ページ エディターを使用してコンテンツを作成し編集するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 4 — コンテンツ エディターでのコンテンツ管理**
コンテンツ エディターを使用してコンテンツを作成し編集するための具体的な手順について解説しています。

- **Chapter 5 — リッチ テキスト エディター**
同一アイテムの異なるバージョンおよび同一アイテムの異なる言語バージョンを作成するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 6 — メディア ライブラリ**
メディア ライブラリを使用するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 7 — RSS フィード**
RSS フィードを作成するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 8 — コンテンツ エディターのワークフロー**
ワークフローを作成して使用する具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 9 — インターフェースのカスタマイズ**
Sitecore のインターフェースをカスタマイズするための具体的な手順について解説しています。

Chapter 2

Sitecore

この章では Sitecore の基本的な機能について紹介します。この章ではログインの方法、アイテムのロックの仕組みについて説明します。またロールによって Sitecore CMS で利用できる機能がどのように異なるかについても解説します。

この章には次のセクションがあります。

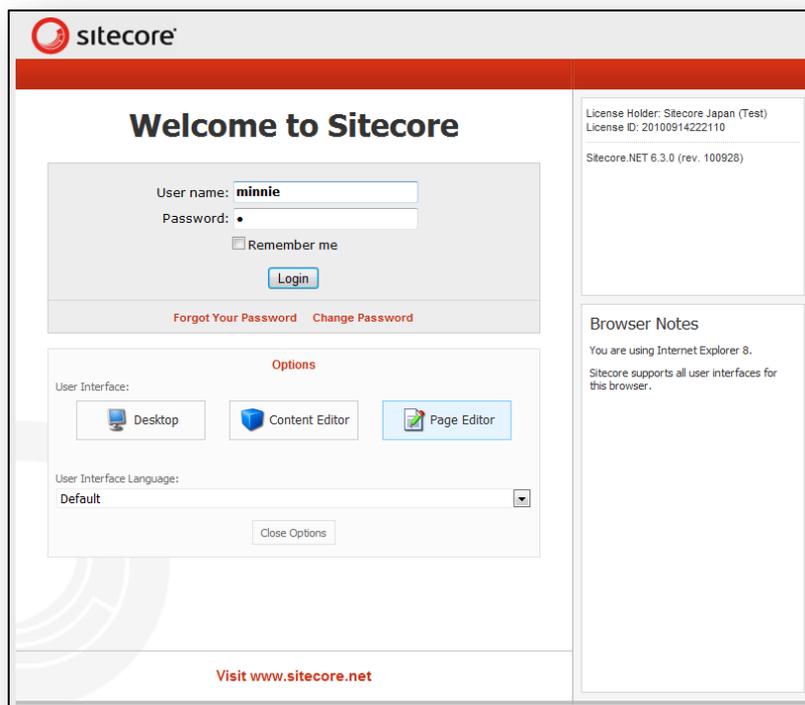
- ログイン
- ロールと機能
- アイテムのロック
- 書式設定

2.1 ログイン

Web サイトのコンテンツを編集するためには Sitecore にログインする必要があります。

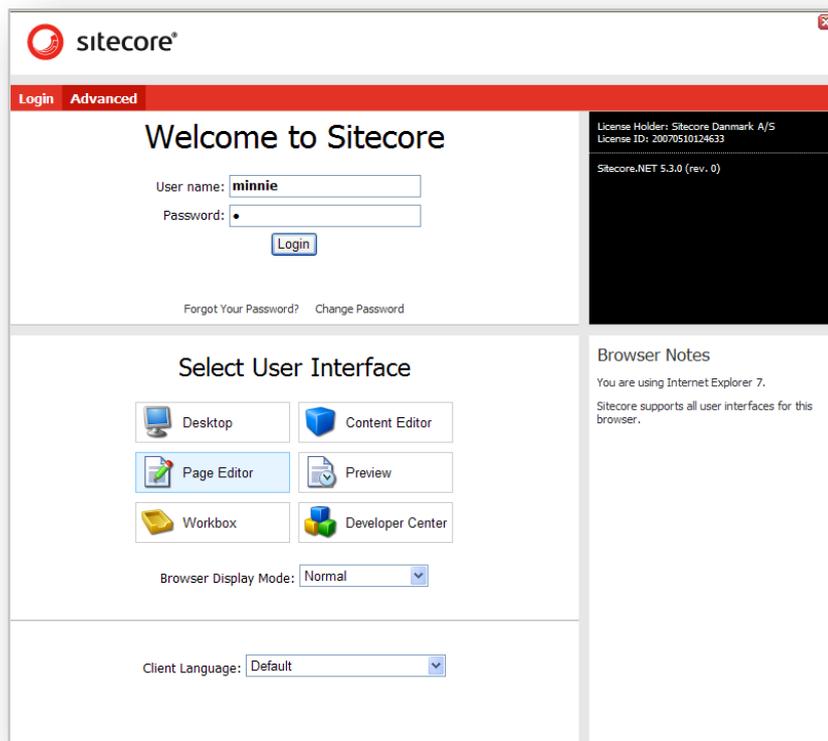
下記の手順に従って Sitecore にログインします:

1. 編集しようとする Web サイトの名前に続けて Sitecore と入力します。たとえば、
`http://www.mywebsite.net/sitecore` と入力すると、**ログイン** ページが表示されます:



2. 実行するタスクを選択し、ユーザー名とパスワードを入力し、[Login] をクリックします。ログインすると Web サイトの編集を開始できます。

または (該当する場合)、[Advanced] をクリックし **アドバンスド ログイン** 画面を開きます。



3. 使用するユーザー インターフェースを選択し、ユーザー名とパスワードを入力し、[Login] をクリックします。ログインすると Web サイトの編集を開始できます。

メモ

このマニュアルではデモ サイトとして Sitecore のトレーニング サンプル サイトを使用します。

Internet Explorer で Sitecore を構成する

Internet Explorer で Sitecore クライアントの構成上の問題が発生した場合には、

<http://sdn.sitecore.net/reference/Sitecore%20IE%20Configuration%20Reference.aspx> から『Internet Explorer 構成リファレンス』を参照してください。

2.2 ロールと機能

Sitecore は経験の豊富なコンテンツ作成者と経験の少ないコンテンツ作成者のどちらにもふさわしいツールを備えています。コンテンツ エディターは経験の豊富なユーザーのための編集ツールです。しかしユーザーに割り当てられているロールによっては、そのユーザーが利用できる機能はこの文書での説明と異なる場合があります。

たとえば、あるロールを割り当てられているユーザーはコンテンツ エディターで次のようなりボンとなる場合があります。



一方、別のロールを割り当てられているユーザーはコンテンツ エディターで多くの機能を持つ次のようなりボンとなる場合があります。



さらに、Sitecore デスクトップにログインした場合、Sitecore メニューに表示されるアプリケーションの種類はユーザーに割り当てられているロールによって異なる場合があります。次の画面例は異なるロールを割り当てられた 2 人のユーザーの Sitecore メニューを示しています。



2.3 アイテムのロック

同時に 2 人のユーザーが同一アイテムを編集しないようにするために、Sitecore はアイテムのロック機能を使用します。何らかの理由により同時に 2 人以上のユーザーが同一アイテムを編集した場合には、最後に [保存] をクリックしたユーザーによる変更のみが保存され、他のユーザーによる変更は失われます。

アイテムのロックは編集するアイテムにロックをかけることによって他のユーザーがそのアイテムを編集できないようにするための仕組みです。編集を終了してアイテムをロック解除するまで、他のユーザーはそのアイテムを編集することができません。

アイテムのロックの動作は使用するツールによって異なります。

- ページ エディターでは編集を開始する前にアイテムをロックすることが「可能」です。
- コンテンツ エディターでは編集を開始する前にアイテムをロックすることが「必要」です。

2.3.1 ページ エディターでのアイテムのロック

ページ エディターでのアイテムのロックの動作は割り当てられたアクセス権によって異なります。

最小限の機能のページ エディター

最小限の機能でのページ エディターのみアクセス権をもつ場合、リボンにアクセスすることはできず、編集前に手動でアイテムをロックすることはできません。

この場合には Sitecore は保存を行うときにアイテムがロックされているかどうかをチェックします。アイテムがロックされている場合には変更は保存されません。アイテムが他のユーザーによってロックされている場合には、アイテムは他のユーザーによってロックされており、行った変更は保存できないというメッセージが表示されます。

限定機能またはフル機能のページ エディター

限定機能のページ エディターまたはフル機能のページ エディターのアクセス権をもつ場合、アイテムをロックすることなく直接、編集することが可能です。アイテムを保存するときに Sitecore がそれをロックします。アイテムが他のユーザーによってロックされている場合には、アイテムは他のユーザーによってロックされているというメッセージが表示されます。

またはアイテムを編集する前に [ロック] または [編集] をクリックして、手動でロックをかけることが可能です。



アイテムをロックした時、それは [マイ アイテム] に表示されます。



この画面例ではユーザーは 2 つのアイテムをロックしています。

アイテムの編集が終了した後に、必ずそのロック解除を行い、他のユーザーが必要なときに編集できるようにしておく必要があります。

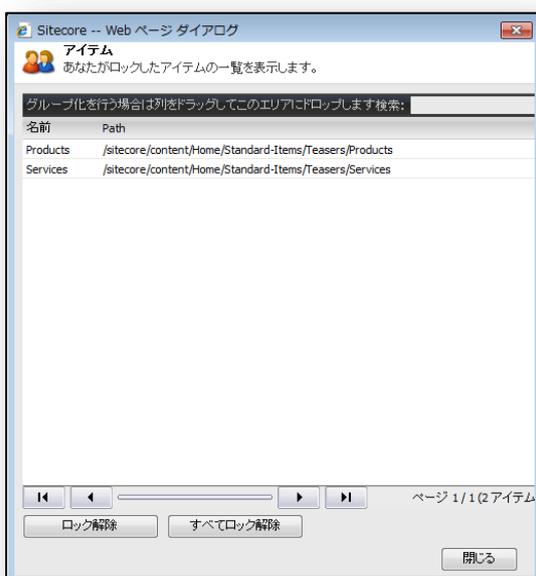
アイテムのロック解除

ロックしたアイテムのロック解除を忘れずに行う必要があります。

アイテムをロック解除するにはアイテムを選択し、[編集] または [ロック] をクリックします。

多くのアイテムをロックして編集した場合、詳細が分からなくなる場合があります。

自分がロックしているアイテムを確認するためには、[編集] グループで [マイ アイテム] をクリックします。



[マイ アイテム] ダイアログ ボックスは自分のロックしたすべてのアイテムを一覧表示します。

1 つまたは複数のアイテムをロック解除するためには、アイテムを選択し [ロック解除] をクリックします。すべてのアイテムのロック解除をするためには、[すべてロック解除] をクリックします。

2.4 書式設定

Sitecore では Web サイトに表示されるコンテンツの書式設定は通常は、システム管理者、デザイナー、プログラマーなどによって定義される Web サイトのスタイル シートに制御されます。

これはつまり、コンテンツ作成者は作成するページが閲覧者にどのように見えるかということを心配せずに、コンテンツの品質に集中することができるということです。

もちろんテキストを太字にしたり斜体にしたりなどのスタイルの変更を行うことは可能です。さらに、HTML の知識がある場合は、コードを編集してコンテンツの表現を操作することも可能です。一般に、コンテンツ作成者は表示されるべき素材に集中ことができ、書式設定に関してはあまり気に留める必要はありません。

Chapter 3

ページ エディターでのコンテンツ管理

この章ではページ エディターとその機能について紹介します。シンプル テキスト フィールドとリッチ テキスト フィールドを編集する方法など、既存のアイテムの編集方法について詳細に説明します。ページ エディターで画像を管理する方法についても説明します。新規のアイテムを作成する具体的な手順についても解説します。

この章には次のセクションがあります。

- **エラー! 参照元が見つかりません。**
- ページ エディターでアイテムを編集する
- ページ エディターで新規アイテムを作成する
- コンテンツの削除

3.1 ページ エディター

一般にコンテンツ作成者は、Web サイトのデザインやスタイルやレイアウトでなく、サイトに表示される素材の品質と正確性に集中します。このため、多くのコンテンツ作成者はこの要件を満たすプログラムで業務を行うことを好みます。これは Web サイトを作成する開発者やデザイナーの要件とは異なります。

これを実現するため、Sitecore CMS ではコンテンツ作成者は、ページ エディターを使用して Web ページ上で直接アイテムを編集したり作成したりすることが可能です。ページ エディターは Sitecore が備える最も簡易な編集用のツールです。これは経験の少ないコンテンツ編集者がページ上で直接コンテンツ アイテムを編集したり書き込んだりするためのツールです。WYSIWYG (What You See Is What You Get) エディターであり、ユーザーに提供される機能は限定的です。

ページ エディターにログインすると、割り当てられたセキュリティ ロールによって、またアクセスする Web サイトで行われているカスタマイズによって、利用できる機能が異なります。

ページ エディターにログインすると Web ページの上部に 2 つのボタンが表示されます：



編集を行いたいページに移動し、[編集] をクリックすると、編集モードでページ エディターが開きます。

ページ エディターでアクセスできる機能は異なる場合があります。最も少ない場合には Web ページの上部にいくつかのボタンがあります。



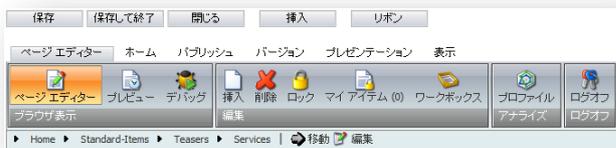
さらに多くのアクセス権がある場合には、コマンドのリボンが使える場合があります。たとえば、下記の例のようなリボンが表示されます：



このリボンでは先の画面例の内容のすべてに加えてそれ以上の機能を含んでいます。

アイテムを編集中に [リボン] をクリックすると、一時的にリボンを非表示にして作業スペースを広くとり、少し簡潔なレイアウトにすることができます。[リボン] を再度クリックするとリボンを再び表示させることができます。

ページ エディターの持つすべての機能へのフル アクセス権を与られている場合には、すべてのコマンドをリボンから使用することができます。



このリボンには6つのタブがあり、タブのそれぞれがコマンドの集合になっています。

3.2 ページ エディターでアイテムを編集する

先述のとおり、ページ エディターは Sitecore の備える最も簡易な編集用のツールで、ページ上で直接編集作業を行いたいコンテンツ編集者のために設計されています。

ページ エディターはページ上で直接変更を確認することのできる WYSIWYG エディターです。これにより、経験の少ないユーザーでも自分の担当するコンテンツ アイテムに行った変更点を管理することが容易になります。

ページ エディターでは次のものを編集することが可能です：

- シンプル テキスト フィールド、日付フィールドなど： ページ上で編集でき、それに関連した追加の機能がないフィールド。
- リッチ テキスト フィールド： リッチ テキスト エディターで編集できるフィールド。
- Word フィールド： Microsoft Word で編集できるフィールド。
- メディア アイテム： 各種の画像アイテムまたはサウンド ファイル。

メモ

このマニュアルで記載されているすべての手順では、デモ サイトとして Sitecore のトレーニング サンプル サイトを使用します。

3.2.1 シンプル テキスト フィールドを編集する

次の手順に従って、シンプル テキスト フィールドを編集します：

1. ページ エディターにログインします。
2. **ページ エディター**が開くと、2つのボタンが表示されます。



3. 編集するアイテムに移動します。
4. [編集] をクリックしてアイテムの編集を開始します。

5. アイテムの中で、編集するシンプル テキスト フィールドを選択します。



6. ページ上でテキストを直接編集します。テキスト フィールドは入力したテキストに適合するように自動的に拡大します
7. テキストの編集を完了した後に、別のテキストブロックの編集を始めるか、または [保存] をクリックして変更を保存するか、または [保存して終了] をクリックして変更を保存して編集モードを終了するか、または [閉じる] をクリックして変更を保存しないでアイテムを閉じて編集モードを終了することができます。

3.2.2 リッチ テキスト フィールドを編集する

リッチ テキスト フィールドを使うと Web ページ上でテキストがどのように表示されるかをさらに詳細に制御することができます。

次の手順に従って、リッチ テキスト フィールドを編集します：

1. リッチ テキスト フィールドを選択すると Sitecore は追加の選択肢を表示します。

インストールされた環境によって、選択肢は下記の 2 つの例のように異なる場合があります。



テキストをページ上で直接、またはリッチ テキスト エディターを使用して、編集することが可能です。

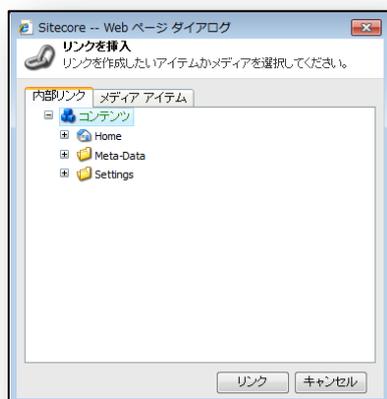
2. ページ上で直接リッチ テキスト フィールドを編集する場合は、テキストを編集できるだけでなく、その書式設定を行なうことも可能です。テキストを太字にしたり、斜体にしたり、下線を引いたりすることが可能です。

リンクや画像やアイテムを挿入することも可能です。

リンクを挿入する

次の手順に従って、リッチ テキスト フィールドにリンクを挿入します：

1. リンク ボタン  をクリックすると、[リンクを挿入] ダイアログ ボックスが開きます。



2. [リンクを挿入] ダイアログ ボックスでコンテンツ ツリーを展開し、リンクの作成先に設定するアイテムを選択します。
3. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。
4. リンクの作成先に設定するアイテムが画像またはメディア ファイルである場合、[メディア アイテム] タブをクリックします。

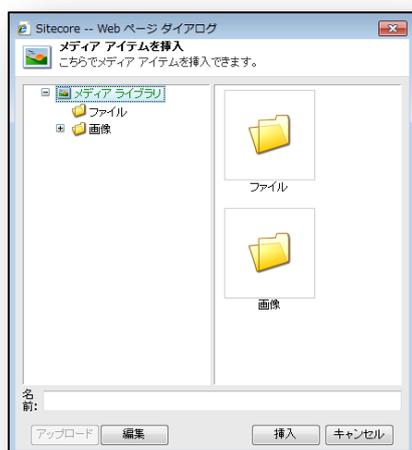


5. コンテンツ ツリーを展開し、リンクの作成先に設定するメディア アイテムを選択します。
6. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。

画像を挿入する

次の手順に従って、編集しているリッチ テキスト フィールドに画像を挿入します:

1. 画像の挿入ボタン  をクリックすると、[メディア アイテムを挿入] のダイアログ ボックスが開きます。



2. コンテンツ ツリーを展開し、挿入する画像またはメディア アイテムを選択します。

ご覧のように、他の種類のメディアをアイテムに挿入することも可能です。それはアニメーション、フィルム クリップ、サウンド ファイルなどです。

3. [挿入] をクリックしてリッチ テキスト フィールドに画像を挿入します。

画像またはファイルをアップロードする

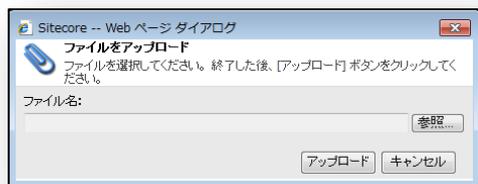
リンクの作成先に設定するメディア ファイルがメディア ライブラリに存在しない場合には、メディア ライブラリにアップロードする必要があります。

次の手順に従って、画像またはファイルをメディア ライブラリにアップロードします：

1. ページ エディターで画像の挿入ボタン  をクリックします：



2. [メディア アイテムを挿入] のダイアログ ボックスで [挿入] をクリックすると、[ファイルをアップロード] ダイアログ ボックスが開きます。



3. [ファイルをアップロード] ダイアログボックスで [参照] をクリックして、使用するファイルを検索します。ファイルを選択すると自動的に Sitecore のメディア ライブラリにアップロードされます。

メディア ファイルがメディア ライブラリで利用可能となると、それへのリンクを作成したり、それを使って Web サイトに画像を挿入したりすることができます。

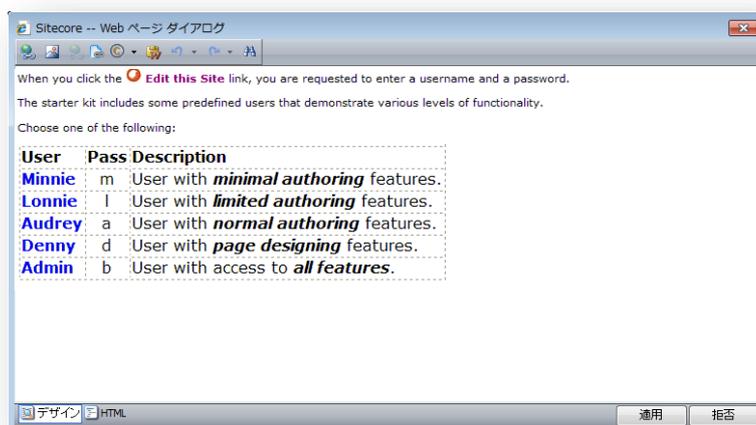
3.2.3 リッチ テキスト エディターでリッチ テキスト フィールドを編集する

リッチ テキスト エディターでリッチ テキスト フィールドを編集することも可能です。

1. 編集するリッチ テキスト フィールドを選択します。



2. [テキスト編集] をクリックすると、リッチ テキスト エディターでテキストが開きます。



3. これでこのウィンドウでアイテムを編集することができます。

リッチ テキスト エディターではさらに多くの機能を使用することができます。次のことを行うことが可能です:

- Web サイトの他のパーツ、または外部の Web サイトへのリンクを挿入または削除する。
- 画像または他のメディア アイテムを挿入する。
- テキストにシンボルを挿入する。
- Microsoft Word からテキストをアイテムに貼り付ける。

必要であれば、Microsoft Word を使用してテキストをアイテムに書き込んだり、それをリッチ テキスト エディターに貼り付けたりすることもできます。

- アイテムのテキストを検索したり置換したりする。

4. リッチ テキスト エディターでアイテムの編集を終了した後に、[適用] をクリックして変更を保存します。

さらに HTML の知識があり、テキストを HTML フォーマットで編集したい場合には、アイテムを HTML フォーマットで表示することもできます。

メモ

Sitecore のシステム管理者がリッチ テキスト エディターで利用可能な機能を制御します。さらに機能が必要な場合には、システム管理者に依頼してください。

リッチ テキスト エディターについての追加情報は、Chapter 5 「リッチ テキスト エディター」を参照してください。

3.2.4 ページ エディターで Word フィールドを編集する

Sitecore はテキスト エディターとして Microsoft Word の使用もサポートしています。Microsoft Word に親しんでいるユーザーは長文のコンテンツの編集に Microsoft Word の使用を好むかもしれません。Word フィールドは Web サイトを作成する開発者がテンプレートで定義します。

ページ エディターで Word フィールドを編集することが可能です。

重要

Sitecore で Word フィールドを編集するには、Microsoft Word 2007 がインストールされている必要があります。

Sitecore Word フィールドは Internet Explorer 7 以降のみでサポートされます。

Word フィールドを構成する

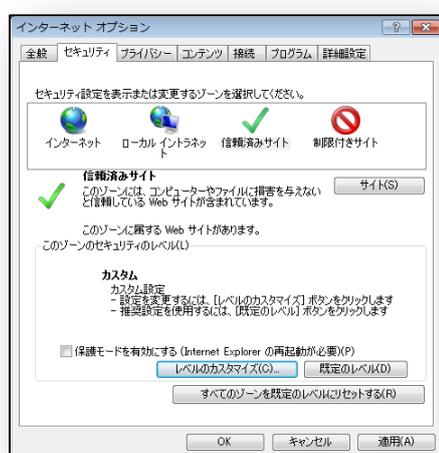
Internet Explorer 8 を使用している場合、最初に Sitecore で Word フィールドにアクセスする際に、セキュリティ設定のためにページ上の ActiveX コントロールを実行できないというエラーメッセージが表示される場合があります。



その場合には、Sitecore の Word フィールドをサポートするように Internet Explorer を構成する必要があります。

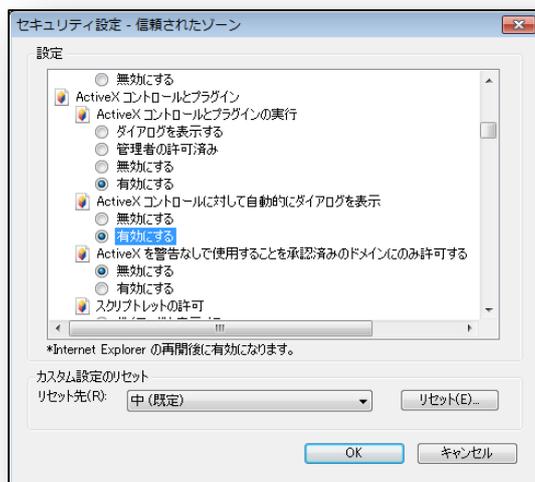
次の手順に従って、Word フィールドをサポートするように Internet Explorer を構成します：

1. Internet Explorer のインスタンスを 1 つだけ開いていることを確認します。
2. Internet Explorer で [ツール] をクリックし (または ALT-T)、次に [インターネット オプション] をクリックします。



3. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスで [セキュリティ] タブをクリックし、次に [信頼済みサイト] をクリックします。

4. [このゾーンのセキュリティのレベル] セクションで [レベルのカスタマイズ] をクリックすると [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログ ボックスが表示されます。



5. [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログ ボックスの [設定] セクションで、[ActiveX コントロールとプラグイン] ノードまでスクロールします。
6. [ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示] セクションで、[有効にする] をクリックします。
7. [OK] をクリックして変更を承諾します。

これで Sitecore から Word フィールドにアクセスすると、ActiveX コンポーネントをインストールするようにダイアログが表示されます。



8. [インストールする] をクリックしてコンポーネントをインストールします。

コンポーネントがインストールされたら、Microsoft Word を使ってフィールドを編集することができます。

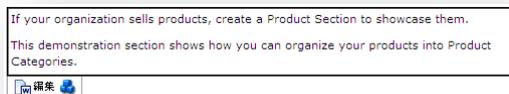
メモ

この ActiveX コンポーネントをインストールした後に、行った変更をやり直して元のセキュリティ設定に戻してください。

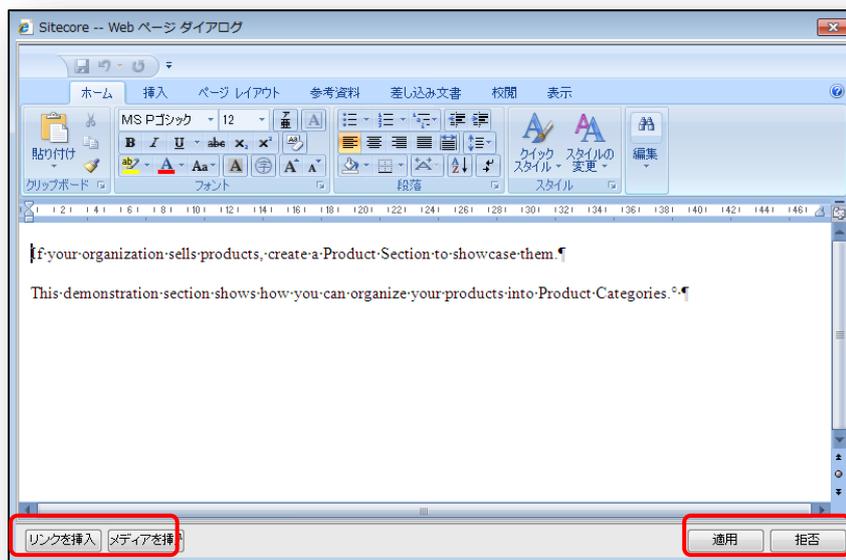
Word フィールドを編集する

下記の手順に従って、ページ エディターで Word フィールドを編集します。

1. ページ エディターで、マウスを Word フィールドの上に動かすと、小さな Word のアイコンが表示されます。



2. [編集] をクリックすると、このフィールドのコンテンツを表示する新しい Word のウィンドウが開きます。



ここからは Microsoft Word のすべての機能にアクセスすることができます。

3. Web サイトに Sitecore の別のアイテムへのリンクを挿入するには、[リンクを挿入] をクリックします。
4. メディア ライブラリから画像を挿入するには、[メディアを挿入] をクリックします。
5. メディア ライブラリにない画像を挿入するには、Microsoft Word の機能を使用します。

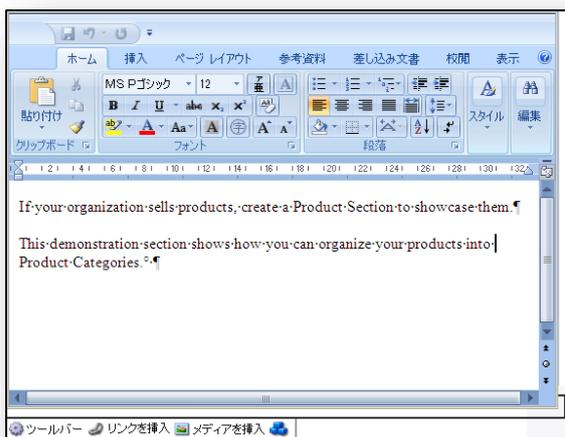
常用したい画像はメディア ライブラリにアップロードするほうがよいでしょう。

6. Word フィールドの編集を終了した後に、[適用] をクリックして変更を保存してウィンドウを閉じます。
7. 変更を保存しないでウィンドウを閉じるには、[拒否] をクリックします。
8. ページ エディターで変更を保存し、アイテムをロック解除します。

Microsoft Word に関する追加情報は、マイクロソフトの文書を参照してください。

Web サイトの構成によっては、Word フィールドをページ上で直接編集することも可能です。Web サイトがインライン編集をサポートしている場合は、Microsoft Word のすべての機能をインライン編集ウィンドウで使用することができます。

す。



1. [ツールバー] をクリックすると、Microsoft Word のリボンの表示と非表示を切り替えることができます。
2. Web サイトに Sitecore の別のアイテムへのリンクを挿入するには、[リンクを挿入] をクリックします。
3. メディア ライブラリから画像を挿入するには、[メディアを挿入] をクリックします。

Word フィールドの構成に関する追加情報は、『プレゼンテーション コンポーネント XSL リファレンス』を参照してください。

3.2.5 画像アイテムを編集する

ページ エディターを使用して Web サイト上で表示されるグラフィック アイテムを編集することも可能です。画像を選択すると、いくつかの選択肢が表示されます。



次のことを行うことが可能です：

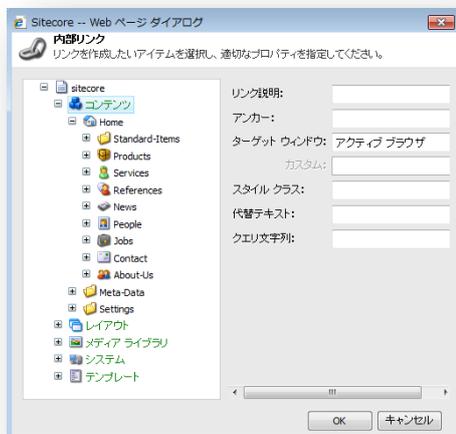
- 画像にリンクがある場合、そのリンクを編集する。
- 表示する画像を選択する。
- 画像のプロパティを編集する。

この場合もやはり、利用できる選択肢はインストールの環境によって異なります。

画像のリンクを編集する

次の手順に従って、画像のリンクを編集します:

1. 画像にリンクがある場合、[リンクを編集] をクリックします。



2. [内部リンク] ダイアログ ボックスの左側のウィンドウで、リンクが開くアイテムを選択します。
同じ Web サイトの他のアイテムにリンクすることができますが、他の Web サイトへのリンクはできません。
3. [内部リンク] ダイアログ ボックスには次のフィールドがあります:

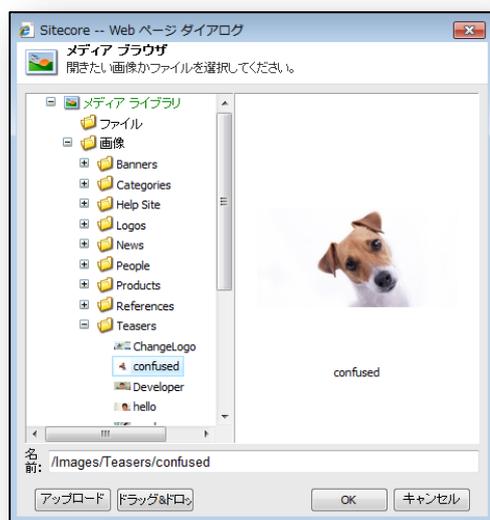
フィールド	値
リンク説明	リンクの説明
アンカー	リンク先にするページのアンカーの名前。ブラウザは直接、ページのこのポイントまでスクロールします。
ターゲット ウィンドウ	リンクが同じブラウザ ウィンドウを使用するか、別のブラウザ ウィンドウを使用するか、カスタム ウィンドウを使用するか。
カスタム	ターゲット ウィンドウ フィールドでカスタムを選択した場合、ここにカスタム ウィンドウを指定します。
スタイル クラス	使用するスタイル クラス。
代替テキスト	画像上にマウスを移動した場合に表示される代替テキスト。
クエリ文字列	リンクに追加されるクエリ。

4. フィールドに適切な情報を記入します。

画像を変更する

次の手順に従って、リッチ テキスト フィールドに表示される画像を変更します:

1. ページ エディターで変更する画像を選択します。
2. [画像を選択] をクリックすると、[メディア ブラウザ] ダイアログ ボックスが開きます。



[メディア ブラウザ] ダイアログ ボックスでは Sitecore メディア ライブラリで使用できるすべてのアイテムを表示することができます。

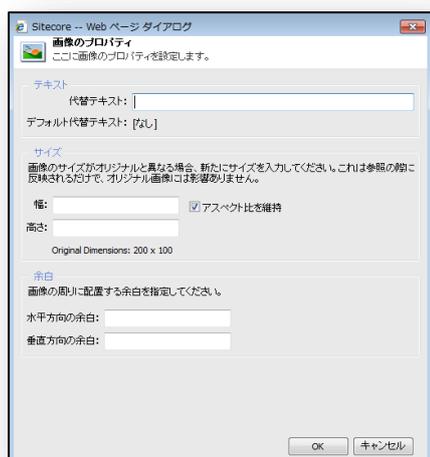
3. 使用する画像を選択して [OK] をクリックします。
この新しい画像が現在のアイテムに挿入されます。
4. ページ エディターで [保存] をクリックして変更を保存するか、または [保存して終了] をクリックして変更を保存して編集モードを終了するか、または [閉じる] をクリックして変更を保存しないでアイテムを閉じて編集モードを終了します。

画像のプロパティを編集する

次の手順に従って、画像のプロパティを編集します：

1. ページ エディターで画像を選択します。

2. [プロパティ] をクリックすると、[画像のプロパティ] ダイアログ ボックスが開きます。



3. [代替テキスト] フィールドで、マウスを画像の上に移動したときに表示されるテキストを入力します。
4. [サイズ] セクションで画像が表示されるサイズを指定します (画像の実際のサイズと異なる場合)。
5. [余白] セクションで、画像の周囲に配置する余白を指定します。

3.3 ページ エディターで新規アイテムを作成する

コンテンツ作成者はコンテンツを編集するだけでなく、新規のコンテンツを作成し、それを Web ページで表示させたい場所に挿入する必要がある場合があります。

Sitecore でアイテムを作成する方法は、割り当てられたセキュリティ ロールと Web サイトがカスタマイズされている方法によって異なります。

3.3.1 アイテムを挿入する

ページ エディターにログインし、編集するページに移動します。ページの上部にある [編集] ボタンをクリックすると、この Web サイトで使用できるすべての編集ツールが表示されます。

次の手順に従って、ページに新規のアイテムを挿入します。

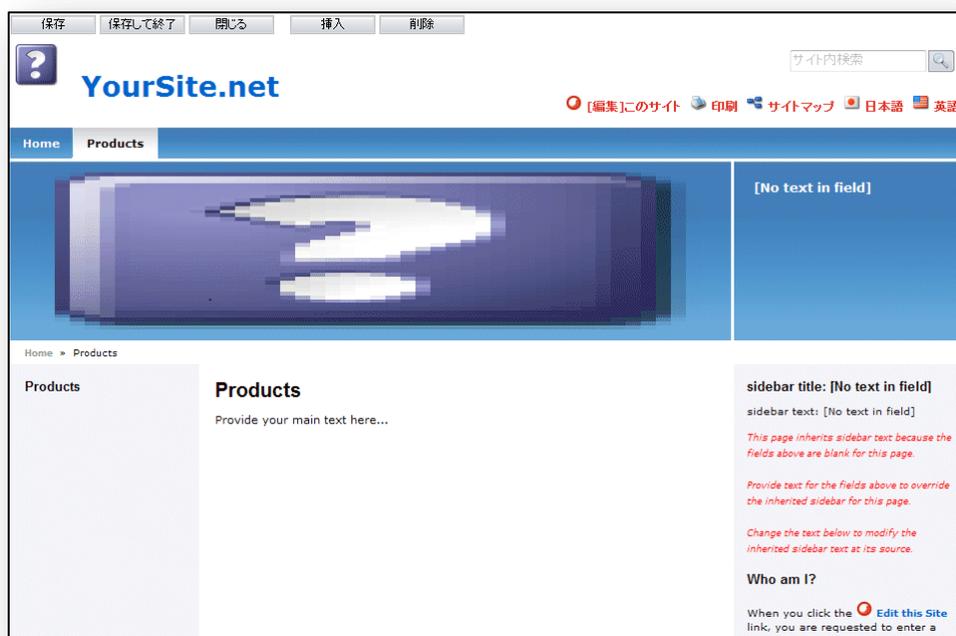
1. [挿入] をクリックすると、[挿入] ダイアログ ボックスが開きます。



作成できるアイテムの種類は、Web サイト上の場所によって異なります。フロント ページの場合は、新規のセクションを挿入することができます。またセクションの種類によって適切なアイテムを挿入することができます。

2. 挿入するアイテムの種類を選択します。この例では、新規のセクションを挿入します。
3. [アイテム名] フィールドで挿入するセクションの名前を入力します。

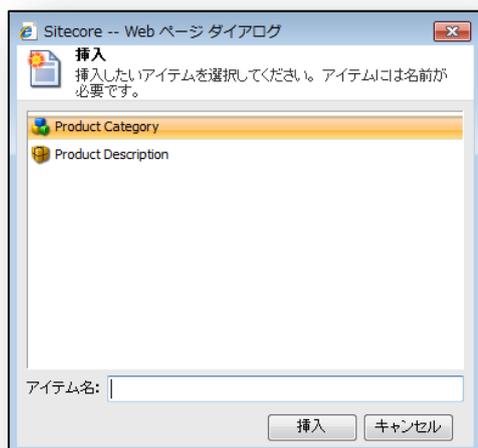
4. [挿入] をクリックして新規のセクションを作成すると、Web サイトにセクションが追加されます。



ご覧のとおり、新規のセクションはアイテムを含んでいません。サイドバーはホーム ページと同じテキストを含んでいます。

新規のアイテムを作成したときは、そのアイテムは自動的にロックされ、他のユーザーが編集できないようになっています。

5. [Products] セクションにアイテムを追加するには [挿入] をクリックします。[挿入] ダイアログ ボックスで次のような選択肢が表示されます。



6. 作成するアイテムを選択します。
7. [アイテム名] フィールドで新規のアイテムの名前を入力し、[挿入] をクリックします。

これらのアイテムは異なるデザインになっていて、Web ページ上で異なる情報を表示することが可能です。



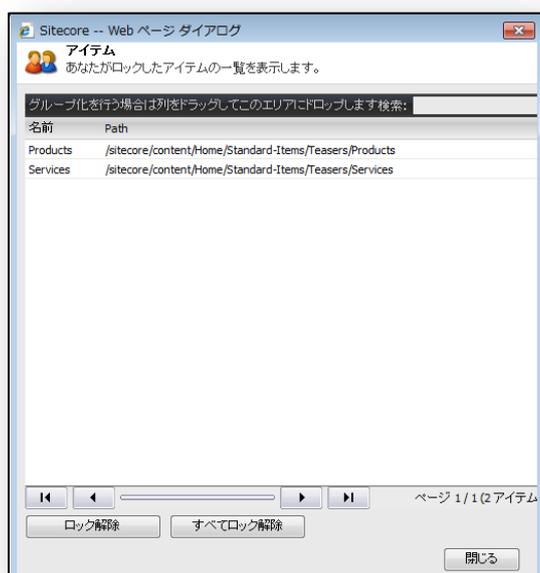
選択できるアイテムおよびそのアイテムが表示できる内容は、Web サイトごとに実装されているデザインとスタイルによって定義され、決定されます。

- これで挿入したアイテムとセクションを編集することが可能です。テキストの追加、画像の追加、サイドバーのテキストの追加、などが可能です。

新規のアイテムの編集が終了した後に、ロック解除する必要があります。

次の手順に従って、アイテムをロック解除します。

- [編集] グループで [マイ アイテム] をクリックすると、ロックされているアイテムの一覧が表示されます。



2. [アイテム] ダイアログボックスで編集が終了したアイテムを選択し、[ロック解除] をクリックしてロック解除します。
すべてのアイテムの編集を終了した後に、[すべてロック解除] をクリックしてすべてのアイテムのロック解除をすることができます。

3.4 コンテンツの削除

コンテンツ作成者は必要に応じてアイテムとコンテンツを削除します。これは Sitecore のページ エディターを使って非常に簡単に行うことができます。

3.4.1 アイテムを削除する

次の手順に従って、Web サイトからアイテムを削除します：

1. 削除するアイテムに移動します。

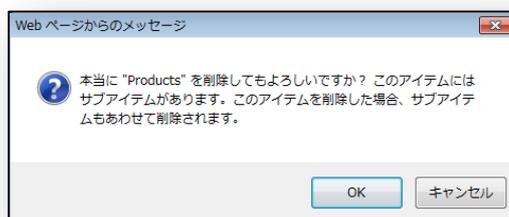
アイテムを削除する場合、そのアイテムに移動します。

サブアイテムを削除する場合、他のアイテムに表示されているリンクではなく、そのサブアイテム自体に移動します。

2. アイテムまたはセクションを削除するためには [削除] をクリックします。

この場合もやはり、Web サイトごとのカスタマイズとページ エディターの構成によって、[削除] ボタンはリボン上にあるかまたは画面の上部にある場合があります。

3. サブアイテムを含むアイテムを削除しようとすると、そのアイテムにはサブアイテムがあり、アイテムを削除した場合にはサブアイテムもあわせて削除されることを知らせるメッセージが表示されます。



それらのアイテムを保存したい場合には、他のセクションに移動させる必要があります。

4. アイテムとサブアイテムを削除するには [OK] をクリックします。

Chapter 4

コンテンツ エディターでのコンテンツ管理

この章ではコンテンツ エディターとその機能について紹介します。ここでは既存のアイテムを編集する方法の詳細を解説します。コンテンツ エディターで画像を管理する方法についても説明します。新規のアイテムを作成する方法およびアイテムを削除する方法の詳細も説明します。

この章には次のセクションがあります。

- コンテンツ エディター
- コンテンツ エディターでアイテムを編集する
- コンテンツ エディターで新規アイテムを作成する
- コンテンツ エディターでアイテムを削除する

4.1 コンテンツ エディター

コンテンツ エディターはコンピューターや Microsoft Word の経験を有し、Sitecore の機能と操作に慣れ親しんだ、経験の豊富なコンテンツ作成者のために設計されています。

コンテンツ エディターは多くの機能をもつアプリケーションですが、その外見および利用できる機能はユーザーに割り当てられたロールとローカルのセキュリティ設定と Web サイトのカスタマイズによって異なります。

コンテンツ エディターによってユーザーは経験の豊富なコンテンツ作成者の要望を満たす多くの機能を活用することができます。

コンテンツ エディターからアクセスできる機能はユーザーによって異なる場合があります。最小限として次のものが表示されるでしょう:



さらに多くのアクセス権がある場合には、さらに多くのコマンドとタブが表示されます:



コンテンツ エディターのすべての機能へのアクセス権がある場合には、このように表示されます:



4.1.1 ページ エディターとコンテンツ エディター

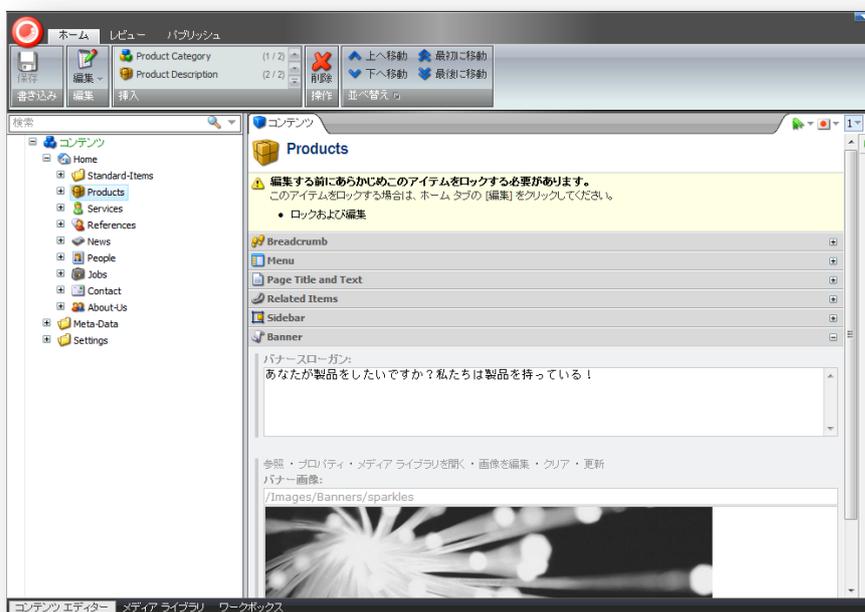
コンテンツ エディターにログインすると、Web サイトを構成しているアイテムがページ エディターでの表示とは異なる方法で表示されます。ページ エディターでは、アイテムは Web サイト上で表示されるように表示されます。コンテンツ エディターでは、アイテムはコンテンツ ツリー上のオブジェクトとして表示されます。コンテンツ ツリーからアイテムを選択すると、そのアイテムは編集可能なフィールドのリストとして表示されます。

たとえば、サンプル Web サイトの Products セクションはページ エディターではこのように表示されます：



ここではページ上に表示されているアイテムのすべてを編集することが可能です。テキスト、画像、ロゴ、リンクなどです。

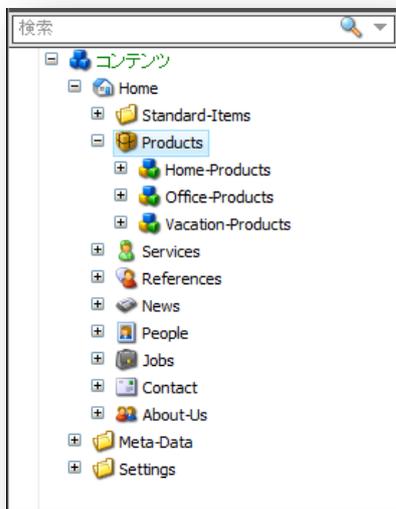
コンテンツ エディターで [Products] セクションを開くと、このように表示されます：



ご覧のように、編集可能なフィールドのリストとして表示されます。さらに、表示されているフィールドは Products アイテム自体に属しているフィールドのみです。Sitecore ロゴ、Home Products アイテム、などはすべて別のアイテムであり、それらは別途にコンテンツ エディターで編集する必要があります。

4.1.2 コンテンツ ツリー

コンテンツ エディターの重要な機能の 1 つはコンテンツ ツリーです。コンテンツ ツリーは Web サイトに作成されたすべてのアイテムを表示します。



Sitecore のコンテンツ ツリーは Windows エクスプローラーで使用されているものと同様の構造になっています。

Sitecore ではオブジェクトとグループは標準のフォルダーとファイルのアイコンで表示されるのではなく、別の多くのアイコンで表示されています。Windows エクスプローラーを操作するのと同様に、Sitecore のコンテンツ ツリーのグループを展開したり開いたりすることができます。アイコンの隣に プラス '+' が表示されている場合は、それはサブアイテムを含んでいて、それを展開することができます。アイコンの隣に マイナス '-' が表示されている場合には、それはすでに展開されています。シンボルが表示されていない場合はそのアイテムはサブアイテムを含んでいません。

コンテンツ ツリーで検索する

Sitecore コンテンツ ツリーには検索機能があります。アイテムを素早く検索できるので、大規模な Web サイトや慣れていないサイトでは特に有益です。

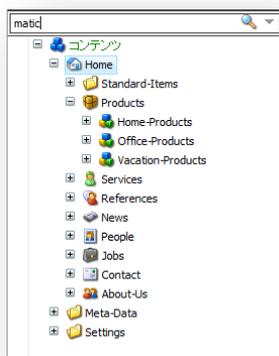
次の手順に従って、オブジェクトを検索します：

1. コンテンツ ツリーで検索する対象のオブジェクトを選択します。これが検索のスタート ポイントです。

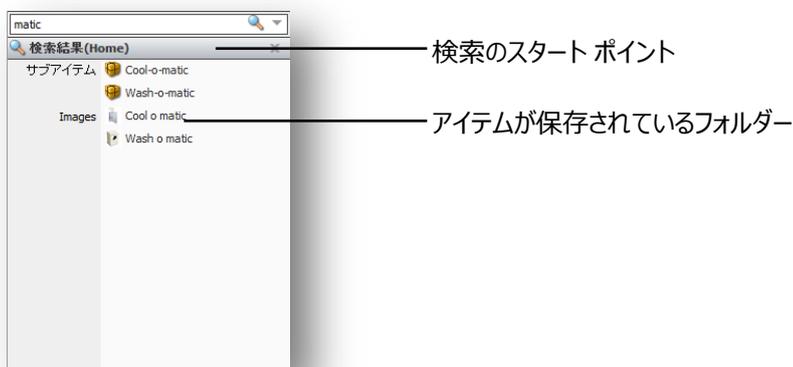
Sitecore の検索エンジンはコンテンツ ツリー全体を検索します。ただし検索結果は検索のスタート ポイントより下で見つかったアイテムをスタート ポイント前に見つかったアイテムよりも先に表示します。

Sitecore の検索エンジンはワイルドカードはサポートしません。

2. [検索] フィールドに検索する値を入力します。文字、数字、単語などです。



3. 検索ボタン  または [ENTER] を押して検索を実行すると、検索結果が表示されます。

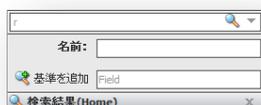


抽出条件を追加する

抽出条件を追加して絞り込み検索を行うこともできます。

次の手順に従って、検索に抽出条件を追加します:

1. 下向きの矢印 ▼ をクリックすると追加のウィンドウが開きます。

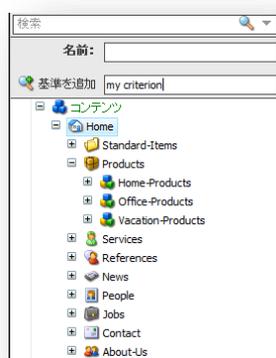


2. 名前を使ってオブジェクトの検索を行いたい場合は、[名前] フィールドに値を入力します。

3. 検索を行うフィールドを変更する場合には、[名前] をクリックすると現在のアイテムのすべてのフィールドの名前のリストが表示されます。



4. 抽出条件を追加するには、[基準を追加] フィールドで抽出条件の名前を入力します。



5. [基準を追加] をクリックし、新規の抽出条件をリストに追加します。
6. 新規の抽出条件の名前をクリックしてフィールド名を表示されるリストから選択することができます。

検索の結果は [検索結果] ウィンドウに表示されます。現在のアイテムの下で見つかったアイテムが最初に表示されます。

追加の抽出条件を削除する

追加の抽出条件を削除するには、削除する条件をクリックし、表示されるメニューの下部で [削除] をクリックします。

4.1.3 コンテンツ エディターでロックする

コンテンツ エディターでは編集を開始する前にアイテムをロックすることが「必要」です。

アイテムをロックする

次の手順に従って、アイテムをロックします。

1. コンテンツ エディターで編集するアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブで [編集] をクリックするとアイテムがロックされます。



アイテムをロックすると、使用可能な機能とコマンドが [コンテンツ] ウィンドウでアクティブになっています。



3. これでアイテムの編集を開始できます。

アイテムをロック解除する

アイテムの編集を終了した後、忘れずに変更を保存するだけでなく、アイテムをロック解除して他のユーザーがそのアイテムを編集可能にします。

現在のアイテムをロック解除するには、[編集] をクリックします。

コンテンツ作成者は多くの場合、Web サイト上の多数のアイテムにさまざまな変更を行います。つまりコンテンツ作成者は多数のアイテムをロックし、すべてのアイテム全体にわたって変更が一貫して実装されることを確認するまでロックを保持する必要があります。

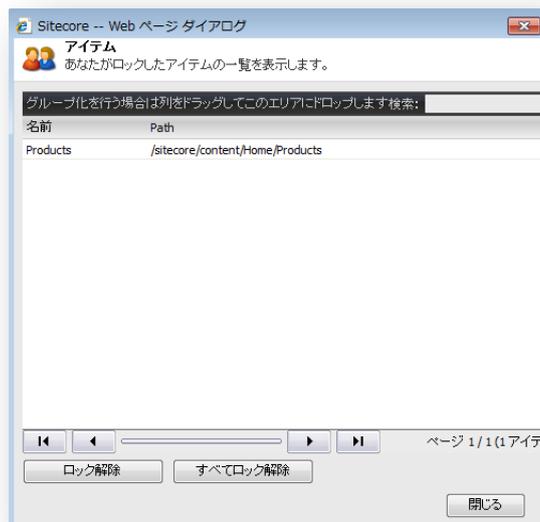
Sitecore はロックしたアイテムを管理して他のユーザーがそれらを編集できないようにします。また Sitecore はどのアイテムがどのユーザーによってロックされたのかを管理しています。

次の手順に従って、自分がロックしたアイテムをロック解除します:

1. コンテンツ エディターで [レビュー] タブをクリックします。



2. [ロック] グループで [マイ アイテム] をクリックします。



[アイテム] ダイアログ ボックスに自分のロックしたすべてのアイテムの一覧が表示されます。現在のセッション時または以前のセッション時にこれらのアイテムをロックした場合があります。

3. 編集を終了したアイテムを選択し、[ロック解除] をクリックしてそれらをロック解除するか、または [すべてロック解除] をクリックしてすべてのアイテムをロック解除します。

4.2 コンテンツ エディターでアイテムを編集する

先述のとおり、経験の豊富なコンテンツ作成者は Sitecore のコンテンツ エディターが提供する高度な機能を、より使いやすいと感じることでしょう。

コンテンツ エディターでは、アイテムに含まれるすべてのフィールドを編集することができます。たとえば、リッチ テキスト フィールド、Word フィールド、画像フィールド、などです。

メモ

コンテンツ エディターでアイテムを編集する前にはそれをロックする必要があります。

この章で説明するすべての手順では、アイテムはすでにロックされていることを前提としています。

4.2.1 コンテンツ エディターでリッチ テキスト フィールドを編集する

コンテンツ エディターでアイテムを選択した後に、それを編集することができます。

次の手順に従って、コンテンツ エディターでアイテムを編集します：

1. コンテンツ エディターのコンテンツ ツリーで、編集するアイテムに移動します。



2. [コンテンツ] ウィンドウで、編集するフィールドに移動します。

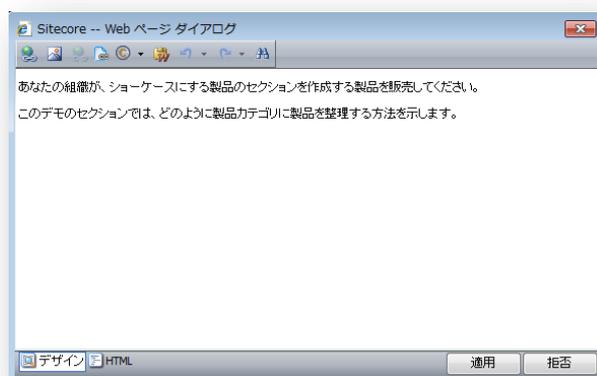
3. 単一行または複数行のテキスト フィールドを編集する場合は、フィールド内で直接編集することが可能です。



4. リッチ テキスト フィールドを編集する場合には、フィールド内で直接編集することはできません。



5. [エディターを表示] をクリックするとリッチ テキスト エディターが開きます。



リッチ テキスト エディターではさらに多くの機能を使用することができます。次のことを行うことが可能です:

- Web サイトの他のパーツ、または外部の Web サイトへのリンクを挿入または削除する。
- 画像または他のメディア アイテムを挿入する。
- テキストにシンボルを挿入する。
- Microsoft Word からテキストをアイテムに貼り付ける。

必要であれば、Microsoft Word を使用してテキストをアイテムに書き込んだり、それをリッチ テキスト エディターに貼り付けたりすることも可能です。

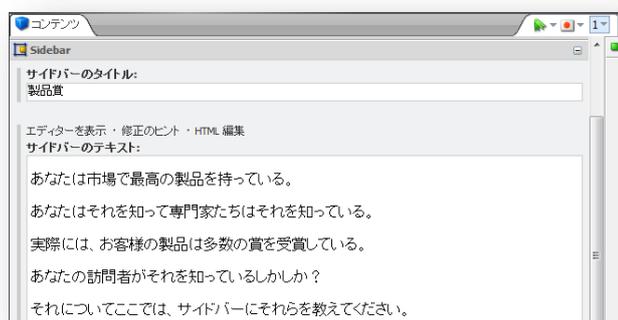
- アイテムのテキストを検索したり置換したりする。

メモ

リッチ テキスト エディターで使用可能な機能は Sitecore システム管理者によって制御されています。さらに機能が必要な場合には、システム管理者に依頼してください。

さらに HTML の知識があり、テキストを HTML フォーマットで編集したい場合には、アイテムを HTML フォーマットで表示することも可能です。

6. リッチ テキスト エディターでアイテムの編集を終了した後、[適用] をクリックしてフィールドに行った変更を保存します。
7. **コンテンツ エディター**で、アイテムをスクロールし、すべての帯を展開して、すべてのフィールドに適切なコンテンツが含まれていることを確認します。たとえば、サイドバーには適切なテキストが含まれていますか？



8. [レビュー] タブをクリックし、[校正] グループの [スペル チェック] をクリックしてスペル チェックを開始します。スペル チェックはアイテムのすべてのテキスト フィールド全体をチェックします。
9. アイテムの編集を終了した後、[保存] をクリックしてアイテムに行った変更を保存し、[編集] をクリックしてアイテムをロック解除し、他のユーザーが必要な際にそれを編集できるようにします。

メモ

スペル チェックは現在のアイテムのみをチェックします。複数のアイテムを編集した場合には、それらで個別にスペル チェックを実行する必要があります。

リッチ テキスト エディターについての追加情報は、Chapter 5 「リッチ テキスト エディター」を参照してください。

4.2.2 コンテンツ エディターで Word フィールドを編集する

コンテンツ エディターで Word フィールドを編集することも可能です。

重要

Sitecore で Word フィールドを編集するには、Microsoft Word 2007 がインストールされている必要があります。

Sitecore Word フィールドは Internet Explorer 7 以降のみでサポートされます。

Internet Explorer 8 を使用している場合、最初に Sitecore で Word フィールドにアクセスする際に、セキュリティ設定のためにページ上の ActiveX コントロールを実行できないというエラーメッセージが表示される場合があります。

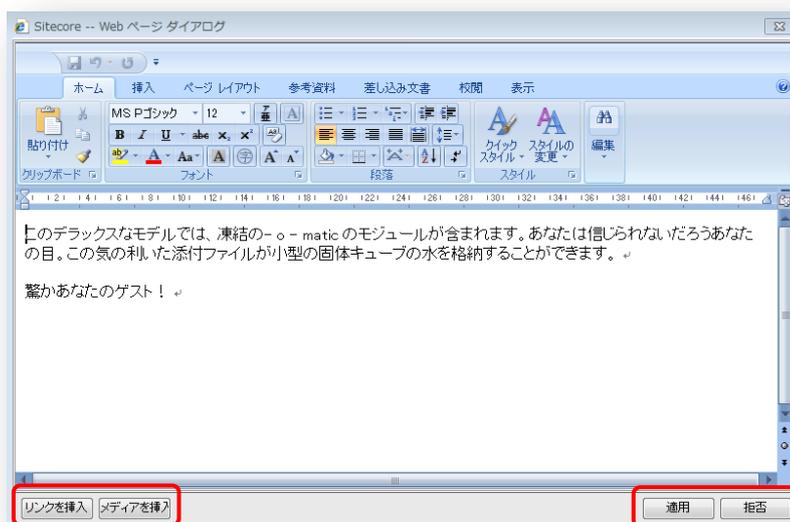
ActiveX コントロールを実行するよう Internet Explorer 8 を構成する方法については、23 ページの「Word フィールドを構成する」を参照してください。

次の手順に従って、Word フィールドを編集します：

1. コンテンツ エディターで編集するアイテムを開きます。



2. [編集] をクリックすると、このフィールドのコンテンツを表示する新しい Microsoft Word のウィンドウが開きます。



このウィンドウでは Microsoft Word のすべての機能にアクセスすることができます。

3. Web サイトに Sitecore の別のアイテムへのリンクを挿入するには、[リンクを挿入] をクリックします。
4. メディア ライブラリから画像を挿入するには、[メディアを挿入] をクリックします。
5. メディア ライブラリにない画像を挿入するには、Microsoft Word の機能を使用します。
常用したい画像はメディア ライブラリにアップロードするほうがよいでしょう。
6. Word フィールドの編集を終了した後に、[適用] をクリックして変更を保存してウィンドウを閉じます。
7. 変更を保存しないでウィンドウを閉じるには、[拒否] をクリックします。
8. コンテンツ エディターで変更を保存し、アイテムをロック解除します。

Microsoft Word に関する追加情報は、マイクロソフトの文書を参照してください。

4.2.3 画像を使う

コンテンツ作成者は多くの場合 Web サイトに表示されるメディア アイテムを変更したり編集したりします。

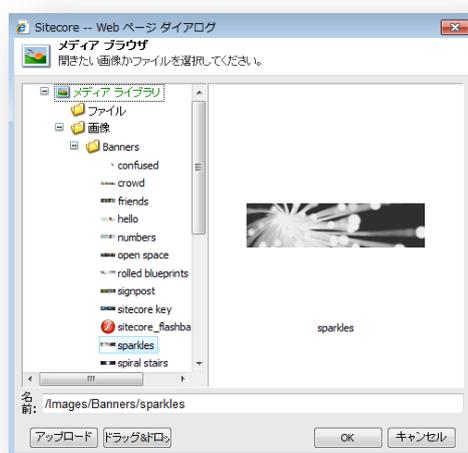
画像を変更する

次の手順に従って、画像を変更します:

1. コンテンツ エディターのコンテンツ ツリーで、編集するアイテムに移動します。



2. [コンテンツ] ウィンドウで [参照] をクリックすると [メディア ブラウザ] ダイアログ ボックスが開きます:



[メディア ブラウザ] が開くと、編集しているアイテムで表示されている画像が表示されます。

3. 使用する画像に移動してそれを選択し、[OK] をクリックします。

- これで選択された画像が編集しているアイテムで使用されます。

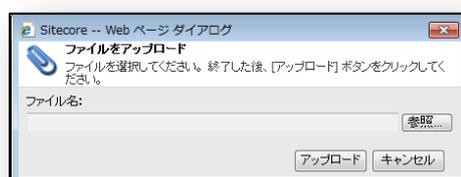


画像をアップロードする

使用する画像がメディア ライブラリに存在しない場合、それをメディア ライブラリに容易にアップロードすることが可能です。

次の手順に従って、画像をメディア ライブラリに追加します：

- [コンテンツ] ウィンドウで [参照] をクリックすると [メディア ブラウザ] ダイアログ ボックスが開きます。
- [メディア ブラウザ] ダイアログ ボックスで [アップロード] をクリックします。



- [ファイルをアップロード] ダイアログ ボックスで [参照] をクリックし、メディア ライブラリに追加する画像に移動します。

画像は自動的にメディア ライブラリにアップロードされ、それを Web サイトで使用することができます。

画像のプロパティを編集する

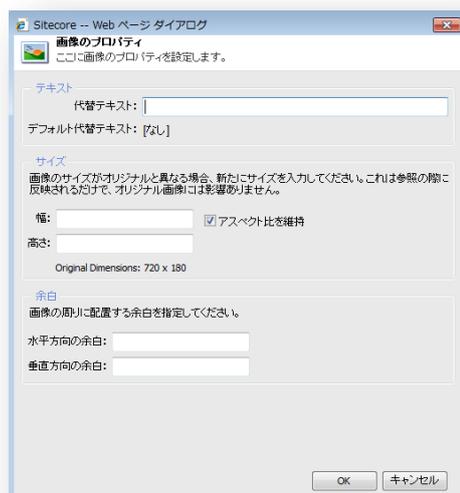
コンテンツ エディターでアイテムに画像を追加すると、その画像のプロパティを編集することができます。

次の手順に従って、画像のプロパティを編集します:

1. [コンテンツ] ウィンドウで画像を含むフィールドまでスクロールします。



2. [プロパティ] をクリックすると、[画像のプロパティ] ダイアログ ボックスが開きます。



3. [代替テキスト] フィールドで、マウスを画像の上に移動したときに表示されるテキストを入力します。
4. [サイズ] セクションで画像が表示されるサイズを指定します (画像の実際のサイズと異なる場合)。
5. [余白] セクションで、画像の周囲に配置する余白を指定します。

画像を編集する

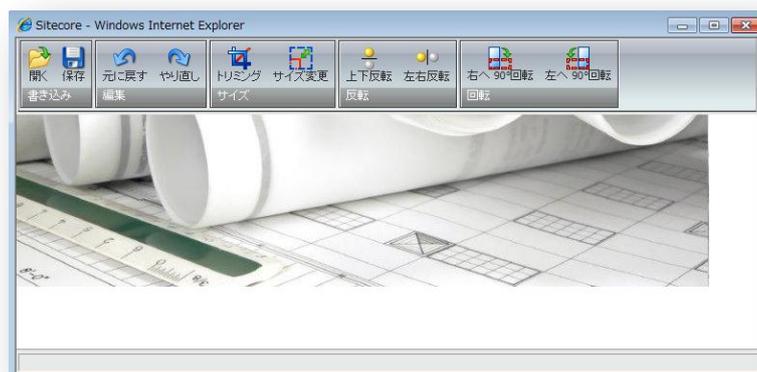
必要な場合には Sitecore を使用して画像を編集することもできます。

次の手順に従って、画像を編集します。

1. 画像を含むフィールドまでスクロールします。



2. [画像を編集] をクリックして、イメージ エディターで画像を開きます。



3. イメージ エディターでは画像のトリミング、サイズ変更、反転、回転を行うことが可能です。
画像にそれ以上の処理を行う必要がある場合には、たとえば Photoshop や Paint Shop Pro などの適切なエディターを使用し、それから画像をメディア ライブラリにアップロードします。
4. 画像の編集を終了した後に、[保存] をクリックしてイメージ エディターを閉じ、コンテンツ エディターに戻ります。
行ったすべての変更はメディア ライブラリに保存されている画像のバージョンに適用されますが、Web ページで表示されているものには適用されません。
5. コンテンツ エディターで [更新] をクリックして、行った変更を確認します。
6. 画像を削除する場合には、[クリア] をクリックします。

4.3 コンテンツ エディターで新規アイテムを作成する

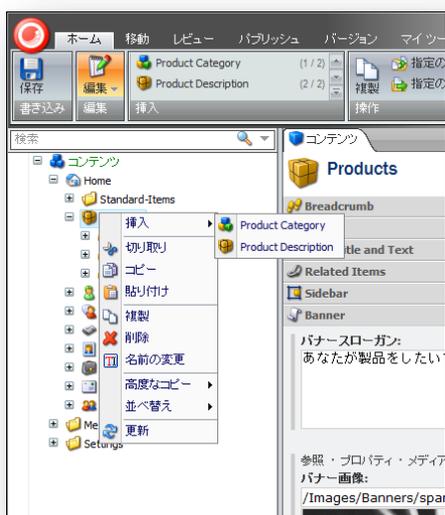
コンテンツ エディターではいくつかの方法で新規のアイテムを作成することができます。

次のことを行うことが可能です:

- 新規アイテムを作成する
- 既存のアイテムを複製する
- アイテムを他の場所にコピーする
- テンプレートをもとにアイテムを作成する

コンテンツ エディターで新規アイテムを挿入するときには、通常は現在のアイテムのサブアイテムとして作成されます。しかし、現在のアイテムと同じレベルで新規アイテムを作成することも可能です。現在のアイテムより上位のレベルにアイテムを作成することはできません。

次のセクションでは Sitecore のリボンを使ってアイテムの作成、コピー、移動、複製、削除を行う方法を説明します。コンテンツ ツリーで右クリックすることで、これらのすべての機能を使用することも可能です。



4.3.1 新規アイテムを作成する

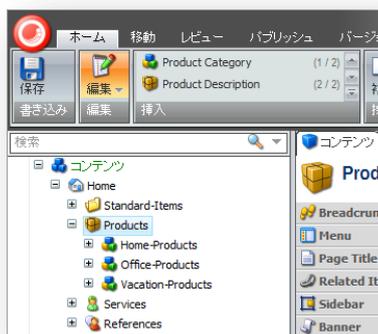
新規アイテムを現在のアイテムのサブアイテムとして容易に作成することができます。

サブアイテムを挿入する

次の手順に従って、新規のサブアイテムを挿入します:

1. コンテンツ エディターでサブアイテムを作成するアイテムに移動します。

2. [挿入] グループで表示されているアイテムの種類の一つをクリックします。



3. 挿入したいアイテムの種類が表示されていない場合には、[挿入] グループのスクロールの矢印をクリックして、必要なアイテムの種類を探します。

または、[挿入] グループで下向きの矢印  をクリックし、表示されるリストからサブアイテムを選択します。

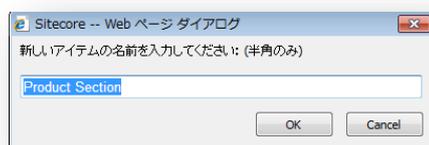


4. このドロップダウンリストでは [サブアイテムの挿入] または [同じ階層に挿入] を選択することが可能です。[同じ階層に挿入] とは現在のアイテムと同じレベルにアイテムを挿入することです。

現在のアイテムと同じレベルにアイテムを挿入するには、[新しいアイテムを同じ階層に挿入] から [Site Section] をクリックします。

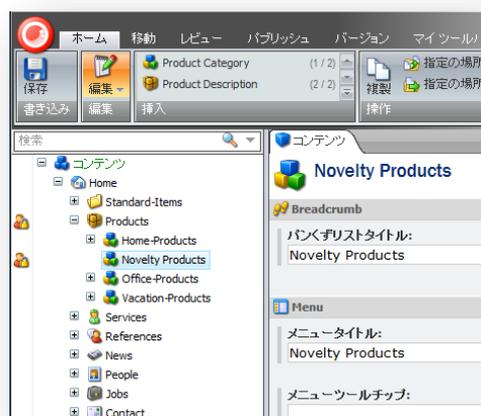
この例では、新規の製品カテゴリーをリストに追加します。この新規のカテゴリーは Products のサブアイテムで、サブアイテムを含むことができます。

5. 作成するサブアイテムの種類を選択すると、新規のアイテムに名前をつけるためのダイアログが表示されます。



6. 新規アイテムの名前を入力します。

これで新規アイテムが Web サイトに追加されました。



ご覧のとおり、新規アイテムは製品のサブアイテムとして作成され、自動的にロックされました。

新規アイテムはすべて自動的にロックされて開かれます。他のユーザーがそれらを編集するためには、ロック解除する必要があります。

7. 新規アイテムを編集します。フィールドをスクロールし、画像やテキストなどを追加します。

アイテムの編集を終了した後に、それにサブアイテムを追加することができます。

4.3.2 既存のアイテムを複製する

Sitecore では既存のアイテムを複製することができます。

次の手順に従って、既存のアイテムを複製します：

1. コンテンツ ツリーで、複製するアイテムに移動します。

この例では、Wash-o-matic 製品を複製し、それを作成した新しい製品カテゴリーに移動します。

2. [ホーム] タブの [操作] グループで [複製] をクリックすると、新規のアイテムに名前をつけるためのダイアログが表示されます。

3. 新規のアイテムの名前を入力すると、それはコンテンツ ツリーに追加されます。



ご覧のとおり、新規アイテムは複製したアイテムと同じレベルに追加されました。そのアイテムは元のアイテムと同じテキスト、画像などのすべてを含んでいます。

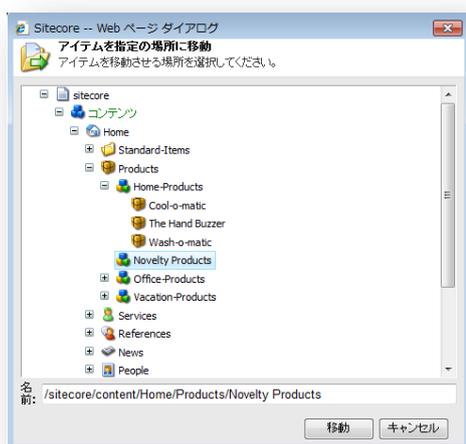
4. 新規のアイテムを編集して、そのアイテムで表示するテキスト、画像などを入力します。

アイテムの編集を終了した後に、それを適切な場所に移動することができます。

アイテムを移動する

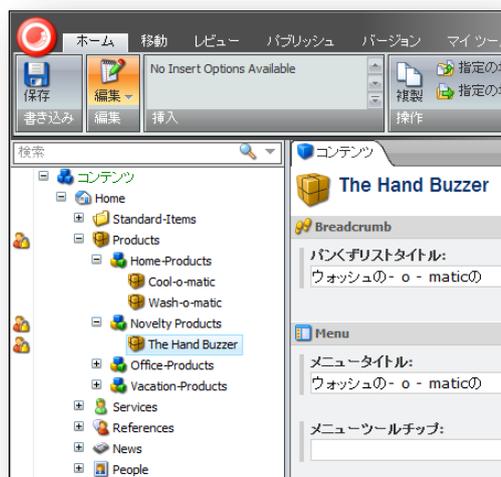
次の手順に従って、アイテムを移動します：

1. コンテンツ ツリーで、移動するアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [指定の場所に移動] をクリックします。



3. [アイテムを指定の場所に移動] ダイアログ ボックスでアイテムを移動する先の場所を選択します。

4. [移動] をクリックしてアイテムを新規の場所に移動します。

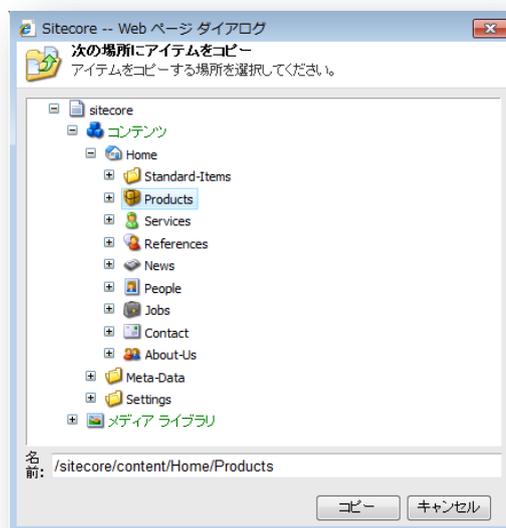


4.3.3 アイテムを他の場所にコピーする

既存のアイテムを希望の場所にコピーすることで新規アイテムを作成することも可能です。

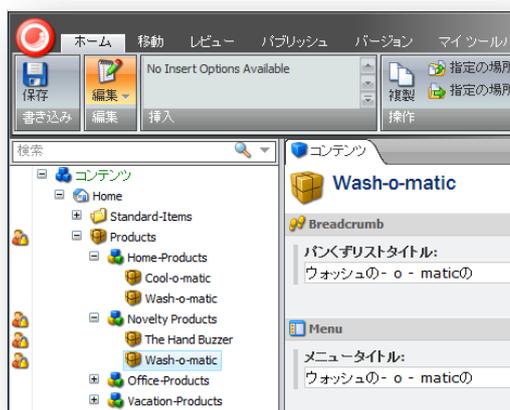
次の手順に従って、アイテムを他の場所にコピーします。

1. コンテンツ ツリーで、コピーするアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [指定の場所にコピー] をクリックします。

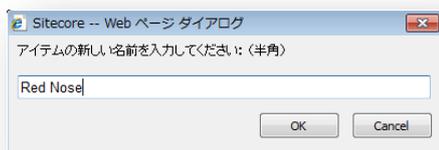


3. [次の場所にアイテムをコピー] のダイアログ ボックスでアイテムをコピーする先の場所を選択します。

4. [コピー] をクリックすると、アイテムは指定の場所にコピーされます。



5. 新規アイテムを編集します。
6. [ホーム] タブの [名前の変更] グループで [名前の変更] をクリックします。



7. アイテムの新しい名前を入力します。

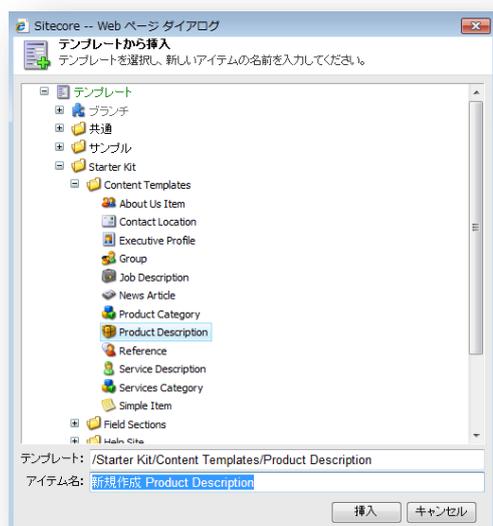
4.3.4 テンプレートをもとにアイテムを作成する

必要十分なアクセス権がある場合にはテンプレートをもとにアイテムを作成することが可能です。

次の手順に従って、テンプレートをもとにアイテムを作成します:

1. コンテンツ ツリーで、サブアイテムを作成するアイテムに移動します。

2. [ホーム] タブの [挿入] グループでスクロール矢印  をクリックして [テンプレートから挿入] をクリックします。



3. [テンプレートから挿入] ダイアログ ボックスで新規アイテムを作成するために使用するテンプレートを選択します。
4. [アイテム名] フィールドで新規のアイテムの名前を入力し、[挿入] をクリックします。
5. [挿入] をクリックすると、アイテムはコンテンツ ツリーに追加されます。



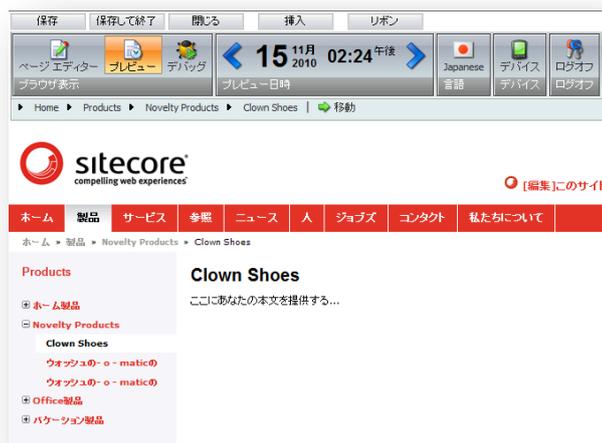
6. アイテムを編集します。
7. 変更を保存します。

変更をプレビューする

新規に作成したアイテムの編集を終了した後に、これらの新規のアイテムが Web サイトでどのように表示されるかを確認できます。

次の手順に従って、変更をプレビューします。

1. [パブリッシュ] タブをクリックします。
2. アイテムがどのように表示されるかを確認するためには、[パブリッシュ] グループで [プレビュー] をクリックします。



新規のブラウザー ウィンドウが開き、現在のアイテムを表示します。Web サイトを参照して、行った変更のすべてを確認します。

サンプル サイトには次の変更が行われました:

- 製品カテゴリーのリストに Novelty Products カテゴリーが追加されました。Products ページには 1 つの Novelty Products のエントリがあります。
- Novelty Products カテゴリーに Clown Shoes などのノベルティ アイテムが作成されました。Novelty Products ページはアイテムを作成したすべての製品を一覧表示します。
- Web サイト上には、作成した製品のそれぞれについて、その製品自体のページがあります。

行ったすべての変更の問題がなければ、このセッション中にロックされたすべてのアイテムをロック解除します。

4.4 コンテンツ エディターでアイテムを削除する

コンテンツ作成者は必要に応じてアイテムとコンテンツを削除します。これはコンテンツ エディターを使って簡単に行うことができます。

4.4.1 アイテムを削除する

次の手順に従って、Web サイトからアイテムを削除します：

1. コンテンツ ツリーで、削除するアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [削除] をクリックします。

または、コンテンツ ツリーでアイテムを右クリックし、表示されるショートカット メニューから [削除] をクリックすることもできます。

アイテムは Web サイトから削除されます。

3. サブアイテムを含むアイテムを削除しようとする、そのアイテムにはサブアイテムがあり、アイテムを削除した場合にはサブアイテムもあわせて削除されることを知らせるメッセージが表示されます。



それらのアイテムを保存したい場合には、他の場所に移動させる必要があります。

4. アイテムとサブアイテムを削除するには [OK] をクリックします。

Chapter 5

リッチ テキスト エディター

リッチ テキスト エディターは Sitecore の使用するワード プロセッシング ツールです。この章ではリッチ テキスト エディターのもつ機能のいくつかを説明します。この章での説明にはリンクの挿入、削除、管理などが含まれます。

この章には次のセクションがあります。

- リッチ テキスト エディターを使う

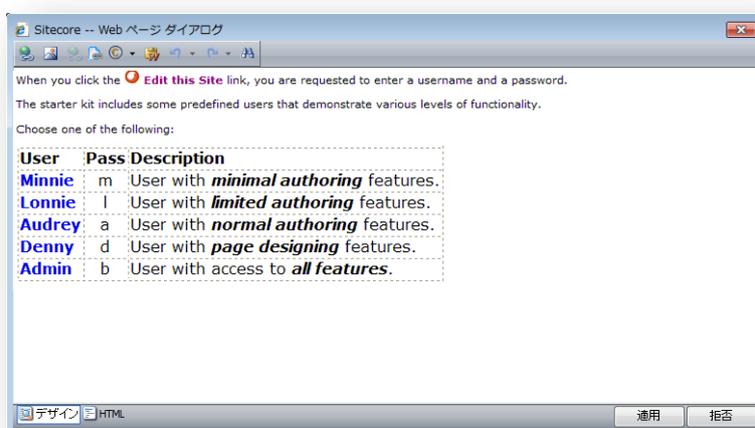
5.1 リッチ テキスト エディターを使う

ページ エディターまたはコンテンツ エディターでリッチ テキスト フィールドを編集する際には、リッチ テキスト エディターを使用する必要があります。これは標準的なワード プロセッシング ツールですが、Sitecore では多くの書式設定機能が省かれています。これはコンテンツ作成者が作成し編集するアイテムの書式は Web サイトに実装されているスタイル シートとテンプレートによって決定されるためです。

しかし、リッチ テキスト エディターでより多くの機能を必要とする場合には、システム管理者に相談することでそれらの機能が利用可能になる場合があります。

5.1.1 テキストを編集する

リッチ テキスト エディターを開くと、編集しているフィールドのテキストが表示されます。



そこでテキストを編集し、また使用可能な機能を使うことができます。

Microsoft Word からコンテンツを貼り付ける

コンテンツ作成者は Microsoft Word を使用してコンテンツを書くことに慣れている場合もあります。Microsoft Word で素材を作成した後に、それをリッチ テキスト エディターに貼り付けることができます。

次の手順に従って、Microsoft Word からコンテンツを貼り付けます：

1. Microsoft Word で Sitecore のリッチ テキスト フィールドに貼り付けたいテキストを選択してコピーします。
2. Sitecore でリッチ テキスト エディターを開きます。
3. Microsoft Word から貼り付け のボタン  をクリックすると、テキストがリッチ テキスト エディターに貼り付けられます。

テキストが貼り付けられると、フォント、サイズ、書式などのすべての設定情報は削除されます。

しかし Microsoft Word で表を作成した場合には、表を貼り付けることはできますが、リッチ テキスト エディターでそれを再度書式設定する必要があります。

5.1.2 リンクの挿入、削除、管理

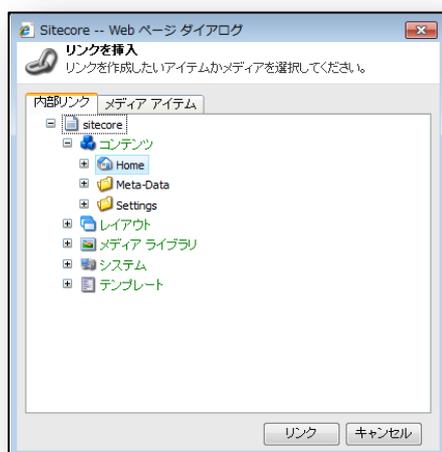
コンテンツ作成者はコンテンツのリンクを管理する必要があります。リッチ テキスト エディターを使ってコンテンツのリンクの挿入、削除、管理を行うことが可能です。

内部リンクを挿入する

内部リンクとは Web サイト内の他のアイテムへのリンクです。

次の手順に従って、内部リンクを追加します：

1. リッチ テキスト エディターでリンクを作成する画像またはテキストを選択します。
2. Sitecore のリンクの挿入ボタン  をクリックします。



3. [リンクを挿入] ダイアログ ボックスの [内部リンク] タブでコンテンツ ツリーを展開し、リンクの作成先に設定するアイテムを選択します。
4. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。

5. リンクの作成先に設定するアイテムが画像またはメディア ファイルである場合、[メディア アイテム] タブをクリックします。



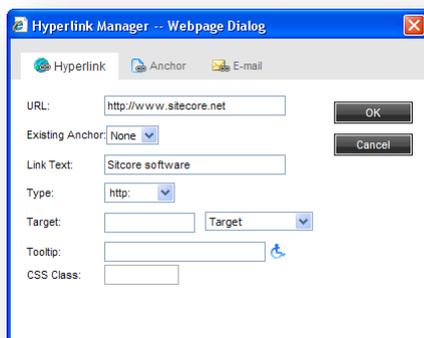
6. コンテンツ ツリーを展開し、リンクの作成先に設定するメディア アイテムを選択します。
7. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。

外部リンクを挿入する

外部リンクとは他の Web サイトへのリンクです。

次の手順に従って、外部リンクを追加します:

1. リッチ テキスト エディターで リンクを作成する画像またはテキストを選択します。
2. ハイパーリンク マネージャー ボタン  をクリックします。



3. [ハイパーリンク マネージャー] ダイアログ ボックスでリンク先に設定する Web サイトに関する情報を入力します。

フィールド	値
URL	Web サイトの URL。
既存のアンカー	アンカーがすでに存在するかどうか。
リンク テキスト	リンクのテキスト。このテキストをここで編集可能。

フィールド	値
種類	作成するリンクの種類。
ターゲット	リンクが開くターゲット ウィンドウ。
ツールチップ	リンク上にマウスを移動した場合に表示されるツールチップ
CSS クラス	リンクが使用するスタイル シート。

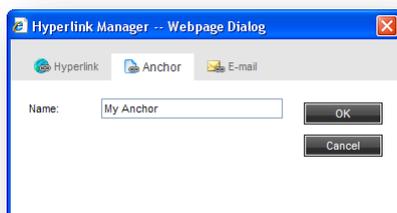
ハイパーリンクの管理

[ハイパーリンク マネージャー] ダイアログ ボックスを使用して、既存のリンクを編集したり、アンカーを作成したり、電子メールリンクを作成したりすることが可能です。

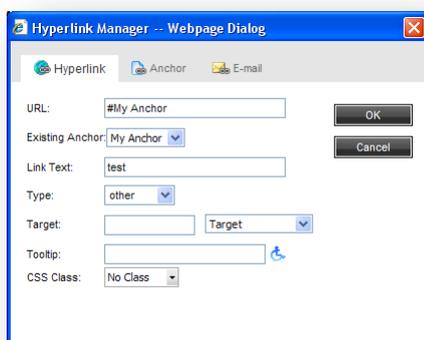
アンカーとは他のページやページ内の特定のセクションへのリンクを作成するために使用される HTML コードです。

次の手順に従って、アンカーを作成します：

1. リッチ テキスト エディターで、アンカーに設定する画像またはテキストを選択します。
2. ハイパーリンク マネージャー ボタン  をクリックします。
3. [ハイパーリンク マネージャー] ダイアログ ボックスで、[アンカー] タブをクリックします。



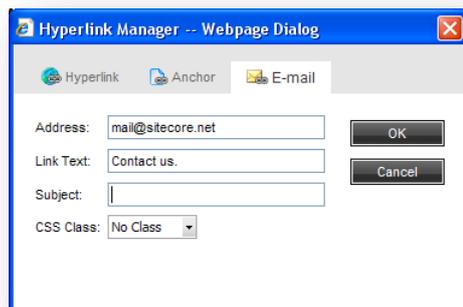
4. [名前] フィールドで、アンカーの名前を入力します。
5. [ハイパーリンク マネージャー] ダイアログ ボックスでアンカーを選択することによって、アンカーへのリンクを作成することができます。



さらに [ハイパーリンク マネージャー] を使って電子メール リンクを作成することも可能です。電子メール リンクは Outlook などの電子メール プログラムで新しいメールを開きます。その電子メールは電子メール リンクで指定された電子メール アドレスに送信されます。

次の手順に従って、電子メール リンクを追加します：

1. リッチ テキスト エディターでリンクを作成する画像またはテキストを選択します。
2. ハイパーリンク マネージャー ボタン  をクリックします。
3. [ハイパーリンク マネージャー] ダイアログ ボックスで、[電子メール] タブをクリックします。



4. [アドレス] フィールドで、メールの宛先とする電子メール アドレスを入力します。
5. [件名] フィールドには電子メールの [件名] フィールドに表示するテキストを入力します。

リンクを削除する

リンクを削除するには、リッチ テキスト エディターでリンクを選択し、リンクの削除ボタン  をクリックします。リンクは削除され、テキストは普通のテキストとなります。

メモ

[ハイパーリンク マネージャー] を使用して Web サイト上に存在する任意のリンクを編集することが可能です。

Chapter 6

メディア ライブラリ

この章では Sitecore のメディア ライブラリとその機能について紹介します。メディア ライブラリを使用して画像、オーディオ、ビデオなどのさまざまなメディア アイテムをアップロードしたり編集したりする方法を説明します。またバージョン管理などのさらに高度なオプションについても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- 概要
- メディア ライブラリのユーザー インターフェース
- メディア ファイルをアップロードする
- メディア アイテムを編集する
- メディア アイテムとバージョン管理

6.1 概要

メディア ライブラリを使って Web サイトで使用するすべてのメディア ファイルを保存します。画像などのメディア ファイルは Web ページに埋め込むことができます。また Web サイトのユーザーがダウンロード可能なように提供することもできます。

メディア ライブラリは次のファイルを含むことが可能です。

- 画像 — .jpg、.gif、.png およびその他のフォーマット
- Word 文書 — .doc、.docx ファイル
- PDF 文書
- ビデオ — .MPEG、.WMV およびその他のフォーマット
- オーディオ ファイル — .MP3 およびその他のオーディオ フォーマット

Sitecore には画像の編集に使用することのできるイメージ エディターがあります。または自分の好みのイメージ編集ソフトウェアを使用することも可能です。

メディア ライブラリには次のメリットがあります：

- すべてのメディア ファイルを一箇所にまとめて、それをコンテンツ ツリーのようなフォルダー構造で整理することができます。
- 素早くメディア ファイルを見つけるために、コンテンツ ツリー上を移動したり、Sitecore の検索機能を活用することができます。
- メディア ファイルを容易にメディア ライブラリにアップロードすることが可能です。アップロード ボタンをクリックしてコンピューター上の画像を参照するか、またはダイアログ ボックスにドラッグ & ドロップを行って、メディア ファイルを追加することができます。
- すべてのメディア コンテンツ アイテムとメディア ファイルはバージョン管理を行うことが可能です。

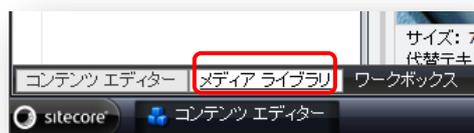
メディア ライブラリを開く

いくつかの方法によってメディア ライブラリを開くことができます：

コンテンツ エディター

1. Sitecore に管理者としてログインし、デスクトップを選択します。
2. Sitecore メニューをクリックし、次にコンテンツ エディターをクリックします。
3. コンテンツ エディターの [コンテンツ ツリー] で [メディア ライブラリ] ノードをクリックします。

またはコンテンツ エディターの下部にあるバーの [メディア ライブラリ] をクリックします。

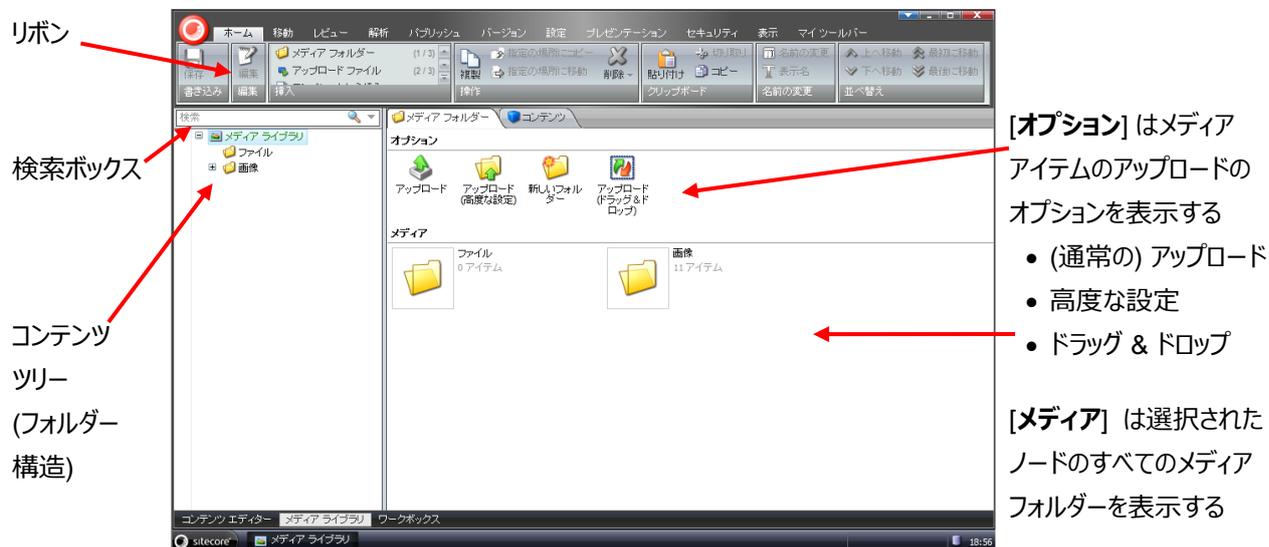


Sitecore メニュー

1. Sitecore に管理者としてログインし、デスクトップを選択します。
2. Sitecore メニューをクリックし、次に [メディア ライブラリ] をクリックします。

6.2 メディア ライブラリのユーザー インターフェース

メディア ライブラリのユーザー インターフェースは次の要素を持っています:



リボン

メディア ライブラリのリボンではコンテンツ エディターと同じ選択肢がありますが、[挿入] グループでは新規のメディア フォルダを作成してメディア ファイルをアップロードすることが可能です。

コンテンツ ツリーでメディア アイテムを選択した場合には [メディア] タブが表示され、それによって 2 つのグループのアクションを選択することが可能です:

- 書き込み — 変更を保存する
- メディア - 表示、編集、ダウンロード、ドラッグ & ドロップ

メモ

リボンに表示される機能は Web サイト管理者から割り当てられたユーザー アクセス権に依存します。

コンテンツ ツリー

メディア アイテムを探すには、コンテンツ ツリーまたは検索ボックスを使用します。すべてのサブフォルダーを参照するにはコンテンツ ツリーのノードを展開します。サブフォルダーを非表示にするにはノードを閉じます。

メディア ライブラリのコンテンツ ツリーはコンテンツ エディターまたはメディア ライブラリから表示することができます。

フォルダー

[フォルダー] タブはメディア ライブラリで選択されたフォルダーのオプションとメディア コンテンツを表示します。

すべてのメディア ファイルをフォルダーに保存し、フォルダーには意味のある名前を付けます。

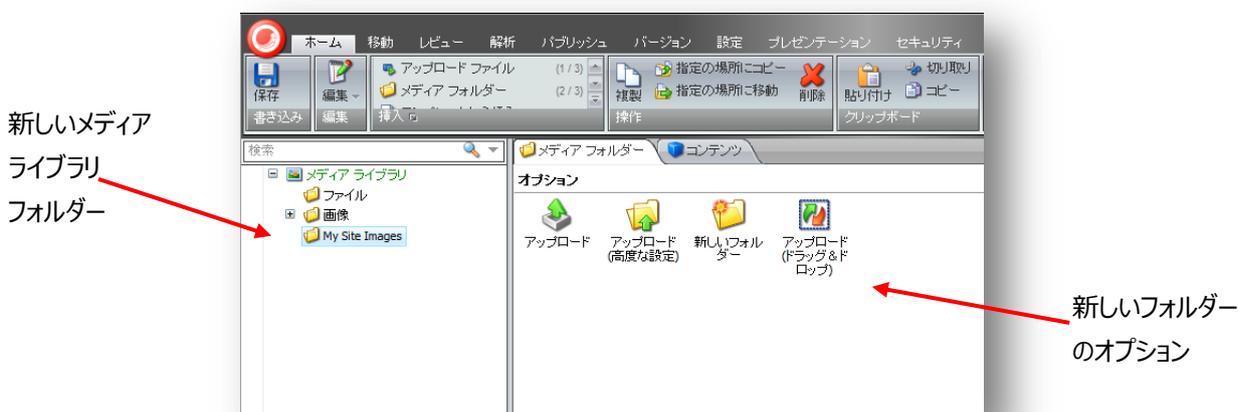
メディア ライブラリのフォルダー構造を整理する容易な方法は、Web サイトの構造をミラーすることです。たとえば、Web サイトに次の4つのメインのセクションがあるとします: Home、Products、Jobs、Contact Us。その場合、同じ名前の4つのフォルダーを作成して画像およびその他のメディアを保存することができます。こうすることで、サイトが拡張されメディア アイテムをアップロードする必要が生じた場合にも、メディア アイテムを見つけることが容易になります。

6.2.1 メディア ライブラリで新しいフォルダーを作成する

メディア ライブラリのコンテンツ ツリーで新しいフォルダーを作成することができます。必要であればさらにサブフォルダーを追加することもできますが、フォルダー構造はできる限りシンプルで整ったものにします。

次の手順に従って、新しいフォルダーを作成します:

1. [オプション] ウィンドウで、[新しいフォルダー] をクリックします。
2. 新しいフォルダーに、たとえば [My Site Images] などのような名前を付けます。
3. 新しいフォルダーはコンテンツ ツリーで他のフォルダーと同じレベルに表示されます。



4. 新しいフォルダーを選択すると、[メディア フォルダー] タブの [オプション] が表示されます。

新しいフォルダーには他のメディア ライブラリのフォルダーと同様のアップロードのオプションがあります。

これで新しいフォルダーにメディア アイテムのアップロードを開始することができます。

6.3 メディア ファイルをアップロードする

メディア ライブラリでは 3 つの方法でメディア ファイルをアップロードすることができます:

- ファイルのアップロード
- ファイルのアップロード (高度な設定)
- ドラッグ & ドロップ

6.3.1 ファイルのアップロード

[アップロード] ボタンを使用して、1 つまたは複数のファイルをメディア ライブラリに追加します。

次の手順に従って、1 つのメディア ファイルをアップロードします:

1. [メディア ライブラリ] の [コンテンツ ツリー] で [Images] フォルダなどのアップロード先のフォルダを選択します。
2. 右側のウィンドウの [オプション] セクションで [アップロード] をクリックします。

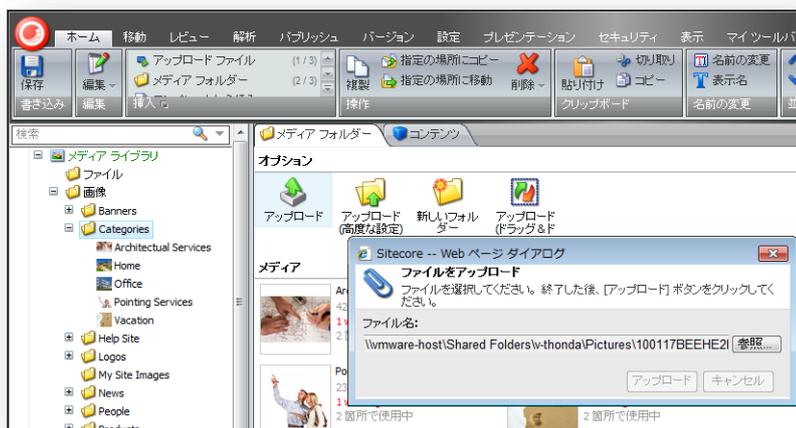


3. [アップロードするファイルの選択] のダイアログ ボックスでコンピューター上のイメージ フォルダを参照し、アップロードするファイルを選択します。

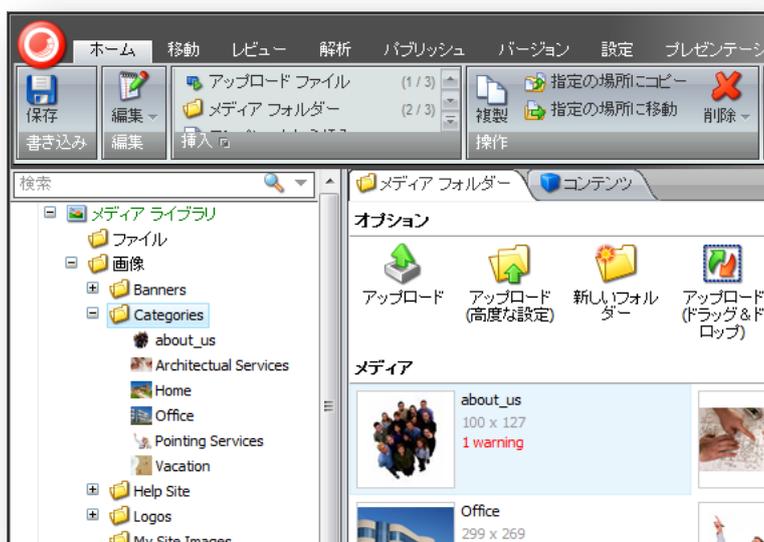


4. [開く] をクリックします。

アップロードの過程では次のような情報が表示されます:



5. アップロードが完了すると、画像はメディア ライブラリの [Images] フォルダーに表示されます。



6.3.2 ファイルのアップロード（高度な設定）

[アップロード (高度な設定)] ボタンを使用して、1 つまたは複数のファイルをメディア ライブラリにアップロードします。

次の手順に従って、複数のファイルをアップロードします：

1. [メディア ライブラリ] の [コンテンツ ツリー] で [Images] フォルダーを選択します。
2. 右側のウィンドウの [オプション] セクションで [アップロード (高度な設定)] をクリックします。

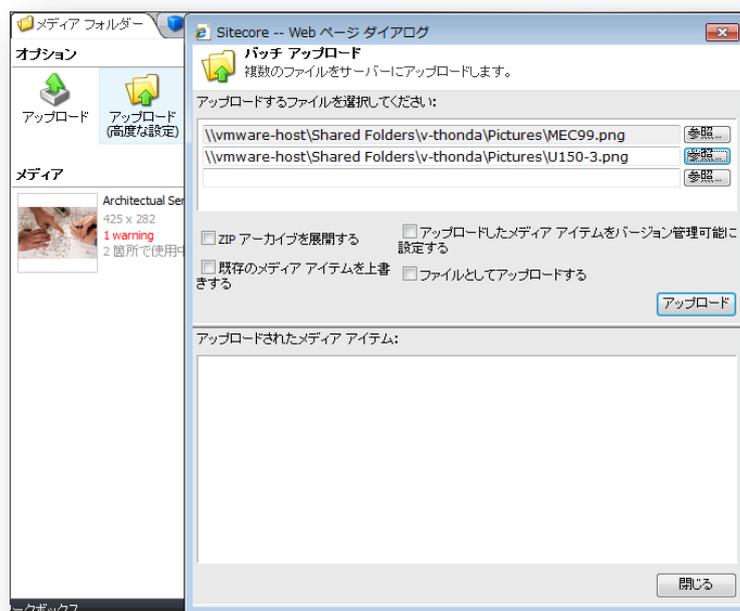


3. [アップロードするファイルの選択] ダイアログ ボックスで、コンピューター上のアップロードするファイルを含むイメージ フォルダーを参照します。

複数のファイルを選択するには、[CTRL] キーを押しながらファイルを選択します。

4. [開く] をクリックします。

5. アップロードの過程が始まる前に、下記のようなダイアログ ボックスが表示されます。



このダイアログ ボックスは次の情報およびアップロードの追加のオプションを含んでいます:

フィールド	説明
ファイル名	アップロードするファイルの一覧を表示します - ファイル名と拡張子 (たとえば jpeg、gif、png など)。
サイズ	各ファイルのサイズをキロバイト単位で表示します。
代替テキスト	画像をアップロードする場合の代替の説明を入力します。
Zip アーカイブの展開	Zip アーカイブ ファイルをアップロードしてメディア ライブラリに展開する場合にはこのオプションを選択します。
既存のメディア アイテムを上書きする	すでにメディア ライブラリに存在するファイルと同じ名前ファイルでアップロードして既存のファイルを上書きする場合には、このオプションを選択します。 このオプションを選択しない場合には重複したファイルがメディア ライブラリに作成されます。
アップロードされたメディア アイテムをバージョン管理可能にする	アップロードしているファイルをバージョン管理可能にする場合にはこのオプションを選択します。 このオプションを選択しない場合には、バージョン管理はオフのままとなります。

フィールド	説明
ファイルとしてアップロードする	ファイルをデータベースとしてではなくファイル システムのファイルとして保存する場合には、このオプションを選択します。

- [アップロード] をクリックします。

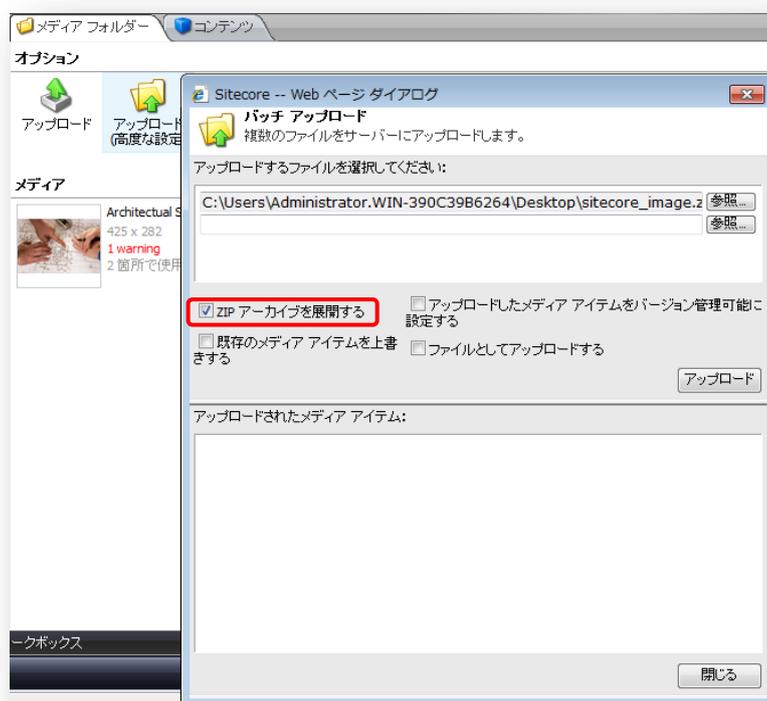
アップロードされたイメージがメディア ライブラリの [Images] フォルダーに表示されます。

複数のファイルをバッチ アップロードする

- ローカルのコンピューターにアップロードするファイルで .zip アーカイブ ファイルを作成します。ファイルを含むサブフォルダーを含めることもできます。

フォルダー構造はファイルが [メディア ライブラリ] に展開された後で再構築されます。

- [メディア ライブラリ] でファイルのアップロード先のフォルダーを選択します。
- 右側のウィンドウの [メディア フォルダー] タブで [アップロード (高度な設定)] をクリックします。
- [アップロードするファイルの選択] ダイアログ ボックスで .zip アーカイブを参照します。
- Open をクリックします。
- [Zip アーカイブを展開する] チェック ボックスを選択します。

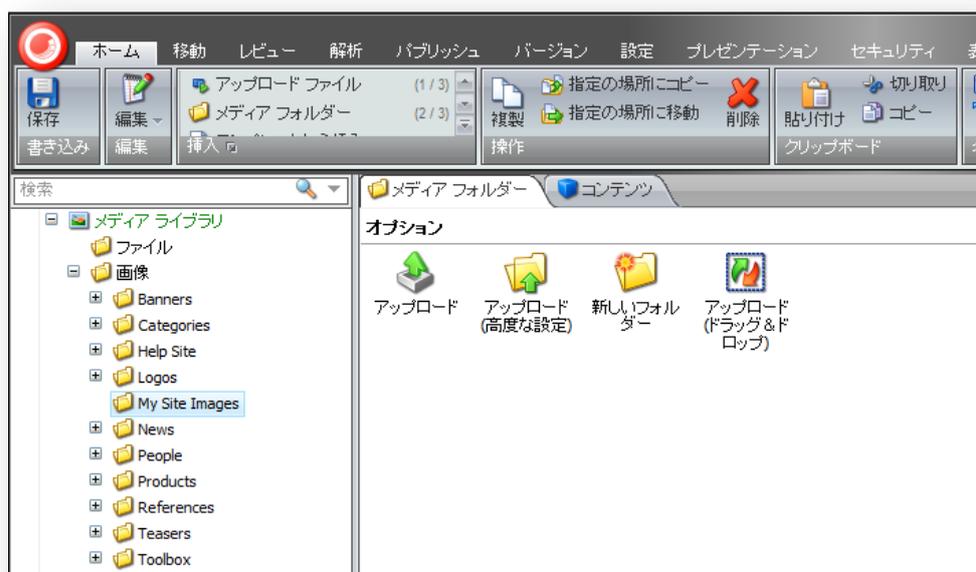


- [アップロード] をクリックします。

アーカイブはアップロードされて選択したメディア ライブラリのフォルダーに展開されます。

6.3.3 ドラッグ & ドロップでファイルをアップロードする

ファイルをメディア ライブラリにアップロードするためにドラッグ & ドロップを使用することも可能です。ドラッグ & ドロップはメディア ファイルをメディア ライブラリにアップロードするのに最も素早くて容易な方法です。コンピューター上の 1 つまたは複数のファイルを [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスを使ってアップロードすることができます。



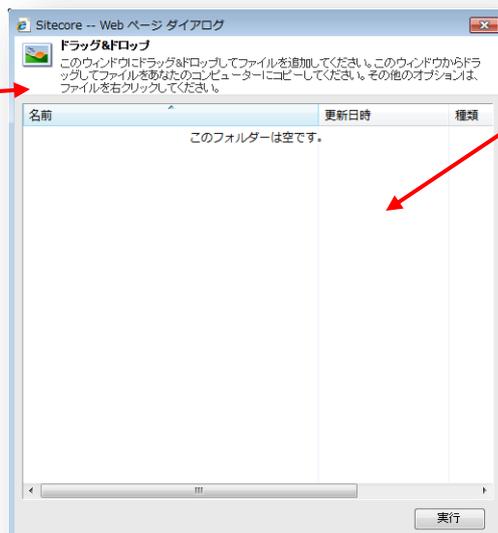
次の手順に従って、ファイルをメディア ライブラリにドラッグ & ドロップします：

1. [メディア ライブラリ] でファイルのアップロード先のフォルダーを選択します。

この例では [My Site Images] という名前の新しいフォルダーを作成しました。

2. [メディア フォルダー] タブで [アップロード (ドラッグ & ドロップ)] をクリックすると [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスが開きます。

Windows と同様の
操作

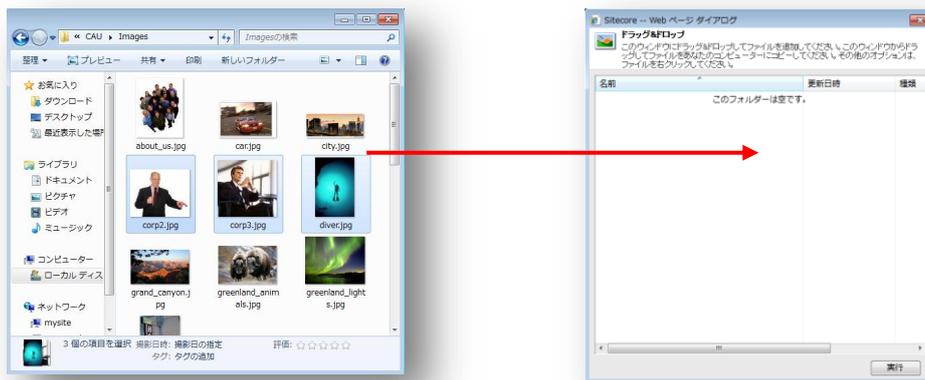


ドラッグ & ドロップ エリア

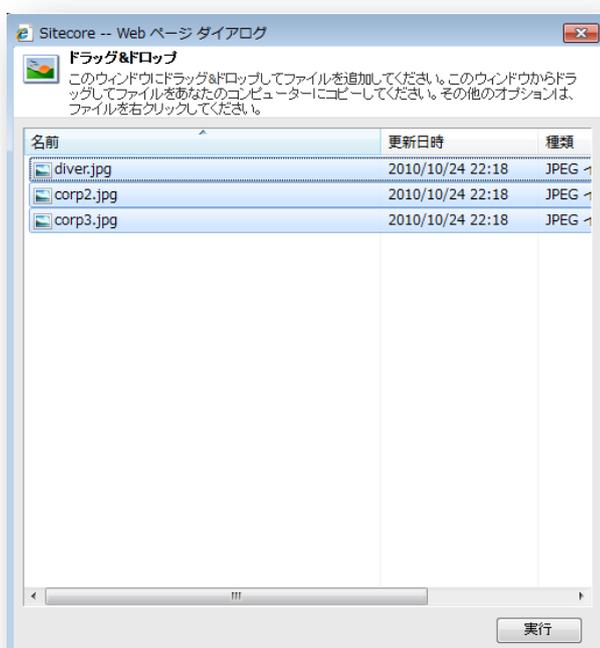
3. Windows エクスプローラーを開きます。
4. Windows エクスプローラーで画像が保存されているフォルダーに移動し、アップロードする画像を選択します。



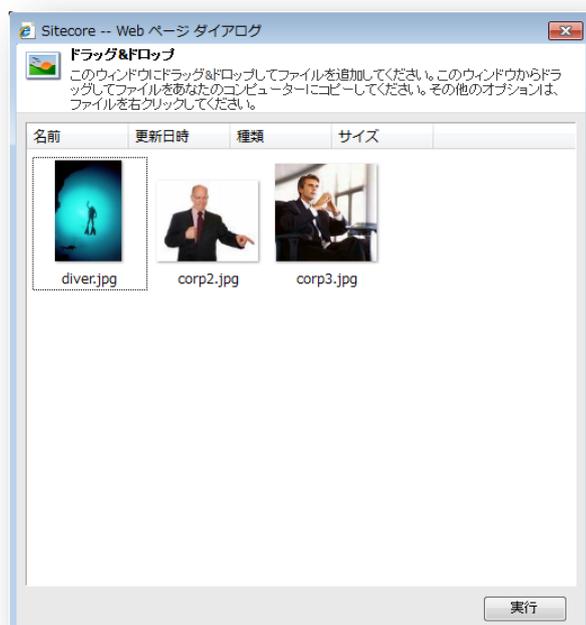
5. Windows エクスプローラー ウィンドウを [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスの隣に配置します。
6. 選択した画像を Windows エクスプローラーから [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスにドラッグします。



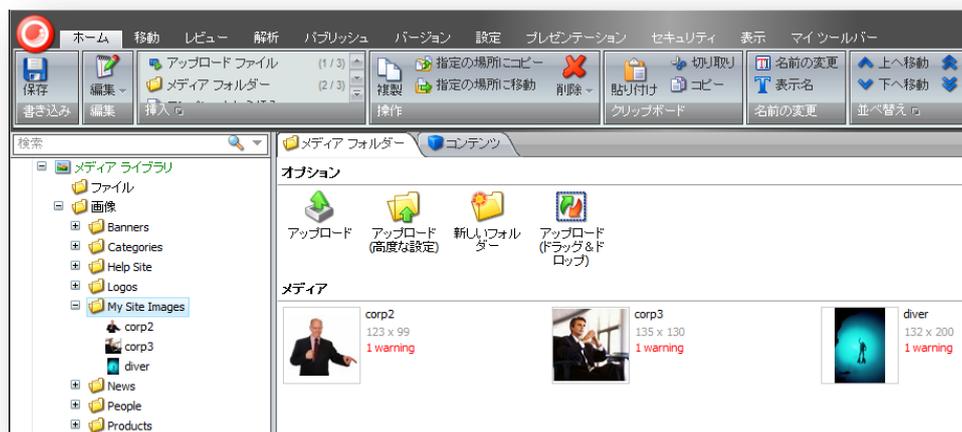
7. [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスにアップロードする画像が表示されます。



8. フォルダーに画像がすでに含まれている場合には、新しいイメージをダイアログ ボックスの下部に表示されているサムネイルの行にドラッグする必要があります。



9. すべての画像を [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスにドラッグした後に [実行] をクリックして [メディア ライブラリ] にコピーします。
10. これで [メディア ライブラリ] の [メディア] セクションにアップロードした画像が表示されます。各アイテムには warning (注意) が表示されています。



11. 各画像のメディア アイテムを開き、[代替] フィールドにテキストを入力します。これで各アイテムから warning (注意) は消えました。

メモ

ドラッグ & ドロップ機能は現時点では Internet Explorer 7 以降のみでサポートされています。Mozilla Firefox など他のブラウザを使用している場合、メディア ライブラリへファイルをアップロードするには [アップロード] と [アップロード (高度な設定)] のオプションのみを使用することができます。

Internet Explorer でのドラッグ & ドロップのサポートを構成するための追加情報は、SDN (Sitecore デベロッパー ネットワーク) から WebDAV 構成の文書を参照してください。

6.4 メディア アイテムを編集する

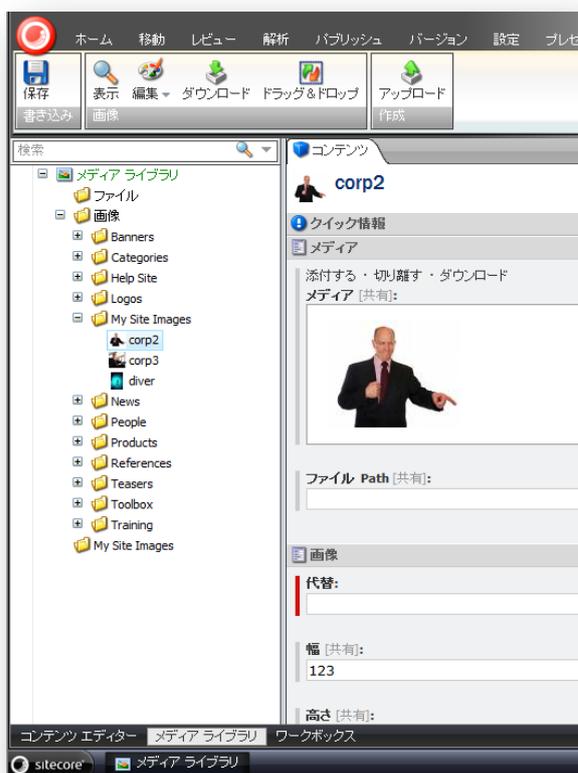
メディア ライブラリでは画像や文書やビデオなどのメディア アイテムを編集するためにイメージ エディターなどの Sitecore のツールを使用したり、またはコンピューター上にインストールされている他のアプリケーション、たとえば Microsoft Word を使って文書を編集したり、Adobe Photoshop を使って画像を編集したりすることもできます。

6.4.1 メディア ファイルとメディア アイテム

メディア アイテムの編集を始める前に、メディア ファイルとメディア アイテムの違いを理解することが重要です。コンピューター上の [マイピクチャー] に保存されている画像はメディア ファイルです。画像ファイルをそこから Sitecore メディア ライブラリにアップロードすると、それはメディア アイテムに添付され、その後はメディア アイテムと呼ばれます。

Sitecore ではメディア アイテムはいくつかのフィールドをもつコンテンツ アイテムの 1 つで、[メディア] フィールドに常に添付されたファイルがあります。メディア アイテムを表示するには、先にアップロードした画像の 1 つをクリックします。

Sitecore のメディア アイテム:



6.4.2 イメージ エディター

次の手順に従って、編集のためにイメージ エディターで画像を開きます:

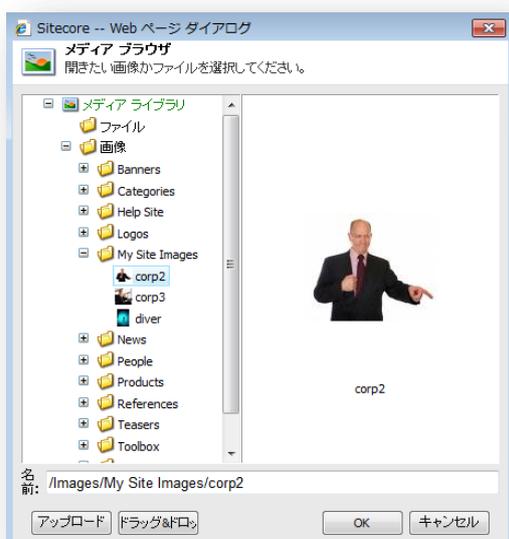
1. Sitecore メニューをクリックします。

2. [すべてのプログラム] をクリックし、[イメージ エディター] をクリックします。
3. [イメージ エディター] ウィンドウで [開く] をクリックして [メディア ブラウザ] を開き、画像を選択します。

メディア ブラウザ

[メディア ブラウザ] ウィンドウではメディア ライブラリのすべてのメディア アイテムを表示することができます。メディア ライブラリのコンテンツ ツリーのノードを展開したり折りたたんだりして、編集したいメディア アイテムを探することができます。

[メディア ブラウザ] ウィンドウから新しいメディア アイテムをアップロードするには、[アップロード] または [ドラッグ & ドロップ] をクリックします。



メモ

コンテンツ エディターからメディア ブラウザにアクセスすることも可能です。コンテンツ アイテムの [画像] フィールドで [参照] をクリックして [メディア ブラウザ] ウィンドウを開きます。

6.4.3 編集のオプション

メディア アイテムをローカルのコンピューター上で編集することも可能です。たとえば、他のアプリケーションを使用して画像を編集し、それからそれをメディア ライブラリにアップロードすることもできます。

メディア アイテムをクリックしたとき、[メディア] グループの [編集] アイコンは編集するファイルの種類によって変化します。たとえば、Microsoft Word の文書をクリックした場合には、関連付けられたアイコンとして鉛筆が表示されます。



画像をクリックすると、パレットが表示されます。



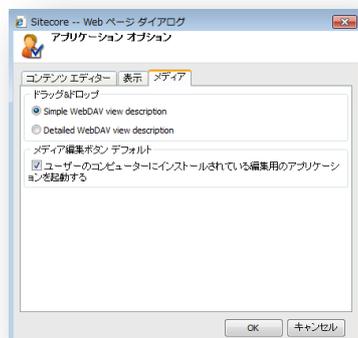
画像アイテムを選択し [編集] コマンドの上半分をクリックすると、デフォルトでは Sitecore イメージ エディターでイメージを開きます。



デフォルトの設定を変更して別の画像編集プログラムを使用することも可能です。

次の手順に従って、デフォルトの画像エディターを変更します。

1. [メディア ライブラリ] で Sitecore ボタン  をクリックし、次に [アプリケーション オプション] をクリックします。



2. [アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスで、[メディア] タブをクリックします。
3. [メディア編集ボタン デフォルト] セクションで [ユーザーのコンピューターにインストールされている編集用のアプリケーションを起動する] のチェック ボックスを選択します。
4. [OK] をクリックして変更を保存します。

[メディア] グループで [編集] の矢印をクリックすると、ドロップダウン リストが表示されます。



- イメージ エディターで編集
- ローカル PC のエディターで編集

このオプションはデフォルトの設定を上書きし、使用するエディターを選択することができます。

6.4.4 メディア アイテムの編集にドラッグ & ドロップを使用する

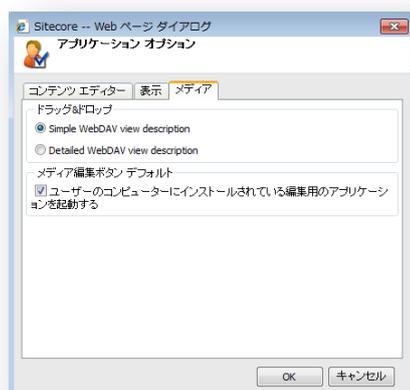
ドラッグ & ドロップを使用してファイルを選択して編集することも可能です。

しかし、ファイルの表示方法と [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスでの編集作業の挙動を制御するアプリケーション オプションがあります。

ドラッグ & ドロップ アプリケーション オプション

次の手順に従って、ドラッグ & ドロップ アプリケーション オプションを設定します：

1. [メディア ライブラリ] で Sitecore メニューをクリックし、次に [アプリケーション オプション] をクリックします。



2. [アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスで、[メディア] タブをクリックします。
3. [ドラッグ & ドロップ] セクションで [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスの表示設定を指定することができます。
2 つのオプションがあります：

- **ファイルの最新バージョンのみを表示する**

このオプションを選択すると次のようになります:

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスは各メディア ファイルの最新のバージョンのみを表示します。

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスを開いて、最新バージョンのメディア ファイルを削除すると、ファイルのすべてのバージョンが削除されます。

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスを開いて、メディア ファイルを編集すると、変更を保存するときにファイルの新しいバージョンが自動的に作成されます。

- **フォルダーのバージョン管理されたファイルを表示する**

このオプションを選択すると次のようになります:

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスはフォルダーのファイルのすべてのバージョンを表示します。Web サイトが使用している各言語には別のフォルダーが作成されます。

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスを開いて、あるバージョンのメディア ファイルを削除すると、ファイルのそのバージョンのみが削除されます。

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスを開いて、メディア アイテムを編集するときには、[名前を付けて保存] をクリックして、アイテムの新しいバージョンを作成する必要があります。

4. [メディア編集ボタン デフォルト] セクションではメディア ファイルを編集するためにどのアプリケーションを使用するかを指定します。

[ユーザーのコンピューターにインストールされている編集用のアプリケーションを起動する] のチェック ボックスを選択すると、コンピューター上で画像ファイルの拡張子と関連付けられている画像編集アプリケーションが使われます。これはデフォルトの設定です。

このチェック ボックスを選択しない場合、Sitecore イメージ エディターが使用されます。

ドラッグ & ドロップとバージョン管理に関する追加情報は、91 ページ の「ドラッグ & ドロップのファイルをバージョン管理可能に設定する」を参照してください。

ドラッグ & ドロップ ウィンドウからファイルを編集する

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスからメディア アイテムを編集することも可能です。

1. メディア フォルダーを選択して [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスを開きます。
2. [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスで編集する画像を選択します。
3. 画像を右クリックし [アプリケーションで開く] をクリックし、表示されるメニューから画像編集アプリケーションを選択します。
4. 画像が画像編集プログラムで開きます。
5. 編集アプリケーションで画像を編集し変更を保存します。

[保存] をクリックすると、元の画像ファイルは上書きされます。

[名前をつけて保存] をクリックすると、[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスに新しい画像を作成します。ファイルを再度アップロードする必要はありません。画像に行ったすべての変更は [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスに保存されます。

6. [ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスで [実行] をクリックします。

6.5 メディア アイテムとバージョン管理

Sitecore では Web サイトには複数のコンテンツ アイテムが含まれます。各コンテンツ アイテムはテキストや画像などのコンテンツを含んだフィールドから構成されています。メディア ライブラリはメディア アイテムを含んでいます。メディア アイテムはコンテンツ アイテムの 1 つです。しかし、メディア アイテムにはメディアという追加のフィールドがあります。このフィールドには添付されたメディア ファイルがあります。

コンテンツ アイテムまたはメディア アイテムでは複数のバージョンを作成することが可能です。作成できるバージョンには 2 つの種類があります。

- 数値バージョン
たとえば、製品ページのバージョン 2 を作成して、それを期間限定の特別プロモーションのために使用することができます。このプロモーション用に画像を特別にトリミングし、その後は元の画像に戻すことが可能です。
- 言語バージョン
たとえば、まずデンマーク語のページを作成し、次にその英語バージョンを作成することができます。したがって両方の言語で表示する代替テキストをもつ画像が必要です。

先述のとおり、バージョン管理はコンテンツ アイテムとメディア アイテムで同じように適用されます。しかし、メディア ライブラリにアップロードされたメディア ファイルも同様にバージョン管理可能です。

メモ

Sitecore で作成できるバージョンの数は無制限です。

バージョン管理されたメディア アイテムとバージョン管理されたメディア ファイル

Sitecore ではバージョン管理されたメディア アイテムとバージョン管理されたメディア ファイルには重要な相違点があります。次のシナリオでその違いを説明します：

シナリオ 1

diver という名前のメディア アイテムがあるとします。コンテンツ エディターで [バージョン] タブをクリックし、このアイテムのバージョン 2 を作成します。

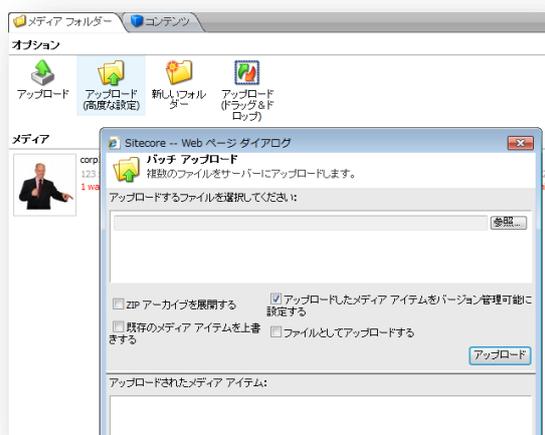
このアイテムの [メディア] フィールドに添付された画像ファイル (diver.jpg) はデフォルトではバージョン管理されていません。

会社の春のキャンペーンのために、このアイテムのバージョン 2 を別の代替テキストを使って作成するとします。添付のメディア ファイル diver.jpg はバージョン管理されていないので、新しいバージョンを作成してもそのまま残ります。アイテムのフィールドの情報だけが変更されます。このアイテムのバージョンをどれだけ作成しても、添付のメディア ファイル (diver.jpg) は変わらずにそのまま残ります。

シナリオ 2

diver.jpg という名前のメディア アイテムがあるとします。このシナリオでは、ファイルをメディア ライブラリにアップロードする前に、それをバージョン管理可能とすることにしました。そうするためには、[アップロード (高度な設定)] ダイアログ ボ

ックスで、[アップロードしたメディア アイテムをバージョン管理可能に設定する] のチェック ボックスを選択します。



これでアイテムのバージョン 2 を作成したときにメディア ファイルに行う変更も保存することができます。たとえば、画像をトリミングしたり編集する場合には、ファイルに変更を行ってバージョン 2 を作成することができます。

メモ

新しいメディア ファイルをメディア ライブラリにアップロードする場合には、デフォルトではバージョン管理は無効になっています。

6.5.1 メディア アイテムのバージョン 2 を作成する

次の手順に従って、メディア アイテムのバージョン 2 を作成します。

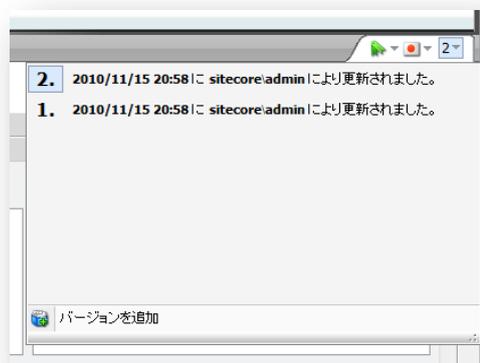
1. メディア ライブラリのコンテンツ ツリーでメディア アイテムを選択します。
2. [バージョン] タブをクリックし、[バージョン] グループで [追加] をクリックして新しいバージョンを追加します。

[diver] メディア アイテムの右上で数字の 2 が表示されます。これが作成したアイテムの新しいバージョンの番号です。



バージョンを切り替えるには次のようにします:

1. バージョン番号のとなりのドロップダウンメニューをクリックすると、選択したアイテムのすべてのバージョンが表示されます。



2. 表示するバージョンの番号をクリックします。

数値バージョンと言語バージョンの両方がここに表示されます。

[バージョン] グループから [バージョン] コマンドをクリックして別のバージョンを表示することも可能です。

6.5.2 バージョン管理可能なメディア ファイルを使う

メディア ライブラリにアップロードするメディア ファイルは、デフォルトではバージョン管理可能に設定されていません。しかし、メディア ファイルはメディア ライブラリにアップロードされた後でバージョン管理可能に設定することができます。

どのような理由でメディア ファイルをバージョン管理可能に設定する必要があるでしょうか。画像を編集したときに、画像の古いバージョンに戻りたいと考えることがあるかもしれません。

メディア ファイルをバージョン管理可能に設定するには 2 通りの方法があります。

- ドラッグ & ドロップ
- ファイルのアップロード (高度な設定)

ドラッグ & ドロップのファイルをバージョン管理可能に設定する

次の手順に従って、[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスにアップロードするすべてのメディア ファイルをバージョン管理可能に設定します:

1. [メディア ライブラリ] を開きます。
2. Sitecore ボタンをクリックし、次に [アプリケーション オプション] をクリックします。
3. [アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスで [ドラッグ & ドロップ] タブをクリックし、[ファイルの最新のバージョンのみを表示する] のオプションを選択します。

さらに web.config ファイルの構成設定を変更する必要があります。

1. web.config ファイルは Web サイトの Web ルート フォルダーに保存されています:
C:\Inetpub\wwwroot\YourSitecoreWebsite\Website
2. web.config ファイルを右クリックし、[プログラムから開く] をクリックし、[メモ帳] をクリックします。
3. 次の設定を検索します:

```
<setting name="Media.UploadAsVersionableByDefault" value="false" />
```

ドラッグ & ドロップ機能を使ってアップロードするすべてのメディア ファイルをバージョン管理可能と設定するには、この値を true に設定します。

デフォルトの設定は false です。
4. 変更を保存して web.config ファイルを閉じます。

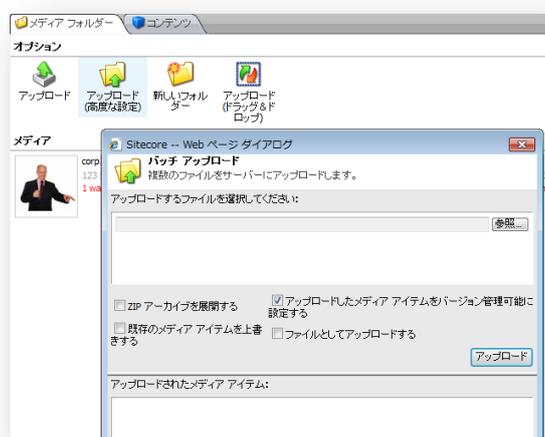
web.config ファイルでこの設定を変更すると、[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスでアップロードしたすべてのファイルをバージョン管理可能にします。

[ドラッグ & ドロップ] ダイアログ ボックスがメディア ファイルを操作し表示する仕組みは [アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスで選択するアプリケーション オプションで決定されます。

ドラッグ & ドロップのアプリケーション オプションについての情報は、86 ページの「ドラッグ & ドロップ アプリケーション オプション」を参照してください。

アップロード (高度な設定) を使ってアイテムをバージョン管理可能に設定する

1. [アップロード (高度な設定)] ダイアログ ボックスで、[アップロードしたメディア アイテムをバージョン管理可能に設定する] のチェック ボックスを選択します。



2. [アップロード] をクリックします。

これで現在アップロードしているファイルをバージョン管理可能に設定します。メディア ライブラリにファイルをアップロードする都度、このチェック ボックスを選択する必要があります。

Chapter 7

RSS フィード

Sitecore は RSS フィードをサポートします。この章では RSS フィードの設定方法と RSS フィードの購読方法を説明します。

Sitecore ユーザーが購読可能なクライアント RSS フィードについても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- セキュリティとクライアント RSS フィード
- RSS フィード
- Sitecore クライアント フィード
- セキュリティとクライアント RSS フィード

7.1 RSS フィード

RSS (Really Simple Syndication) はブログ、ニュース、オーディオ、ビデオなどの頻繁に更新されるマテリアルを標準化されたフォーマットで公開する Web フィードです。RSS フィードはマテリアルのフル テキストまたは要約版を含むことができます。また公開日、著者などのメタデータを含むこともできます。

RSS フィードを使うと発行者はコンテンツを自動的に配信することができます。一方 Web サイトのビジターは、これらのフィードを購読し、お気に入りの Web サイトからの更新を自動的に受け取ることができます。

Web サイトのビジターはブラウザで RSS アイコンをクリックすることでフィードを購読し、これによって購読プロセスが開始されます。RSS リーダーはユーザーの購読したフィードに更新があるかどうか定期的にチェックし、更新がある場合にはそれをダウンロードし、Web サイトビジターにそのフィードの監視と閲覧のためのインターフェースを提供します。

7.1.1 RSS フィードを設定する

Sitecore では RSS フィードを設定するためにはコンテンツ エディターを使用する必要があります。

通常は定期的に更新されるコンテンツ アイテム、たとえばニュース アイテムやブログなどに RSS フィードを作成します。この例では、ニュース アイテムに RSS フィードを作成します。

RSS フィードを作成する前に、フィード アイテムを保存するフォルダーを作成する必要があります。

次の手順に従って、フィード アイテムのためのフォルダーを作成します：

1. コンテンツ エディターのコンテンツ ツリーで Web サイトの[Home] アイテムを選択します。
2. **[ホーム]** タブの **[挿入]** グループで下向きの矢印をクリックして **[テンプレートから挿入]** をクリックします。

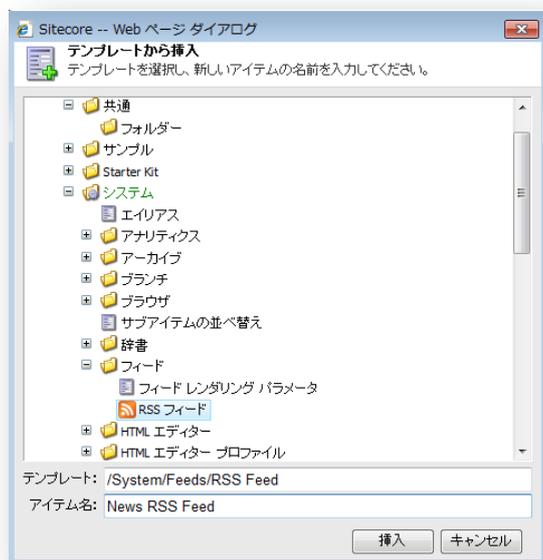


3. **[テンプレートから挿入]** ダイアログ ボックスで **[Templates/System/Workflow/Command]** に移動します。
4. 新しいフォルダーに **[RSS Feeds]** と名前を付けます。

RSS フィードを保存するフォルダーを作成したので、RSS フィードを作成することができます。

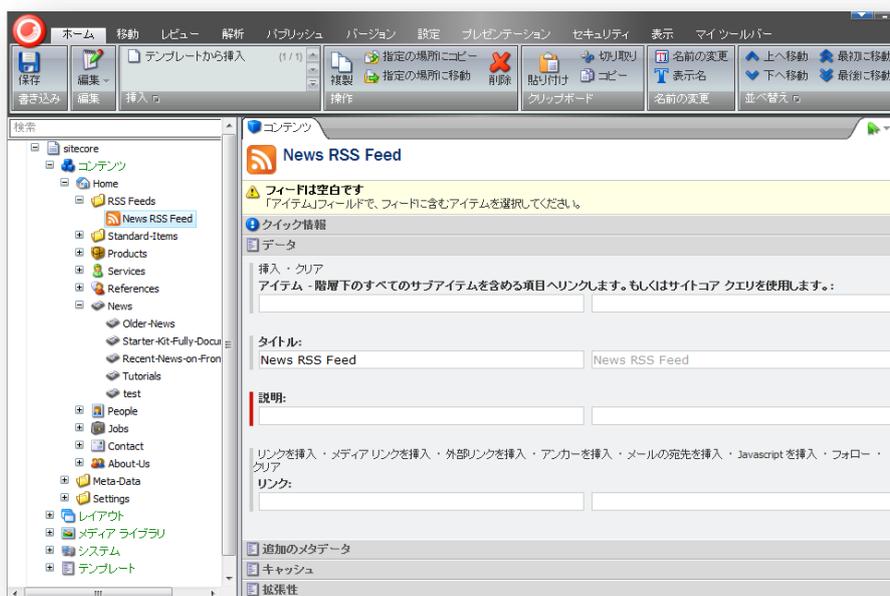
次の手順に従って、コンテンツ エディターで RSS フィードを作成します：

1. コンテンツ エディターで先ほど作成した [RSS Feeds] フォルダーを選択します。
2. [ホーム] タブの [挿入] グループで [テンプレートから挿入] をクリックします。



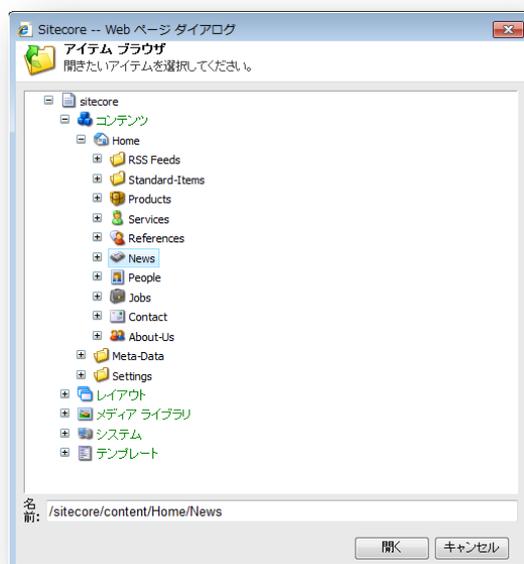
3. [テンプレートから挿入] ダイアログ ボックスで [Templates/System/Feeds/] に移動し、[RSS Feed] を選択してこのテンプレートをもとにフィードを作成します。
4. [アイテム名] フィールドで新しいフィードの名前を [News RSS Feed] と入力します。

5. [挿入] をクリックすると新しいフィードが作成され、コンテンツ エディターで開きます。



新しいフィードから、そのフィードは空であり、フィードに含むアイテムを選択する必要があるということを知らせる注意メッセージが表示されます。

6. [アイテム] フィールドで [挿入] をクリックします。



7. [アイテム ブラウザ] ダイアログ ボックスで [Home] アイテムを展開し、[News] アイテムを選択します。

これで [News] アイテムは RSS フィードに含まれます。

8. [説明] フィールドに RSS フィードの説明を入力します。

9. この新しいアイテムを保存します。

これで [News RSS Feed] アイテムが作成されました。

では、フィードが含むべきコンテンツについて考えてみましょう。このフィードは購読者に [News] アイテムが更新されたことを伝えるだけではありません。このフィードは作成または更新された News 記事に関する情報を含むべきです。

メモ

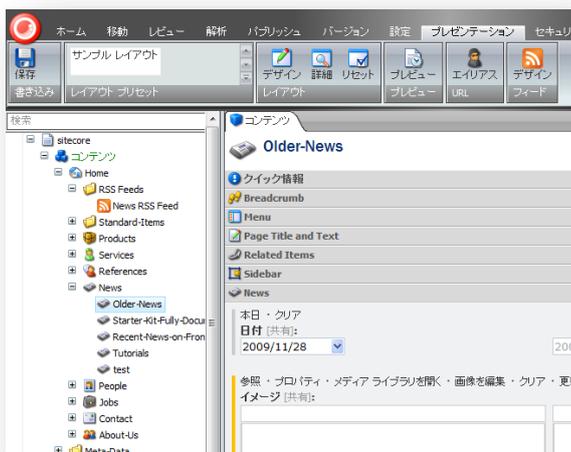
サブアイテムを持つアイテムに対する RSS フィードのみを作成することができます。サブアイテムを持たないアイテムに対して RSS フィードを作成した場合、Sitecore はそのフィードが空であるというメッセージを出します。

次のステップでは RSS フィードで News 記事がどのように表示されるかを構成します。

次の手順に従って、RSS フィードがどのように表示されるかを構成します:

1. コンテンツ エディターで [News] アイテムを展開し、そのサブアイテムの 1 つを選択します。

2. [プレゼンテーション] タブをクリックします。



3. [プレゼンテーション] タブの [フィールド] グループで [デザイン] をクリックします。



4. [RSS フィード デザイン] ダイアログ ボックスで、フィールドがこの RSS フィードの購読ユーザーにどのように表示されるかを指定します。

フィールド	値
タイトル フィールド	フィードのタイトルに表示するアイテムのフィールド。
本文フィールド	フィードの本文に表示するアイテムのフィールド。
日付フィールド	フィードに表示する日付のフィールド。このフィールドは、たとえば、アイテムが作成または更新された日付、または News が適用される日付などを表すことができます。

フィールド	値
プレビュー	フィードのプレビュー

- これらのフィールドを記入した後に、[OK] をクリックします。

すると [フィード] グループのデザイン ボタンに緑のチェック マークが表示され、RSS フィードがこのアイテムにデザインされたことを示します。

- コンテンツ エディターで変更を保存します。

重要

このアイテムと同じテンプレートをもとにした他のアイテムはフィードで同じ様式で表示されます。

サブアイテムの中に別のテンプレートをもとにしたものがある場合、それらのアイテムがフィードでどのように表示されるかを指定する必要があります。

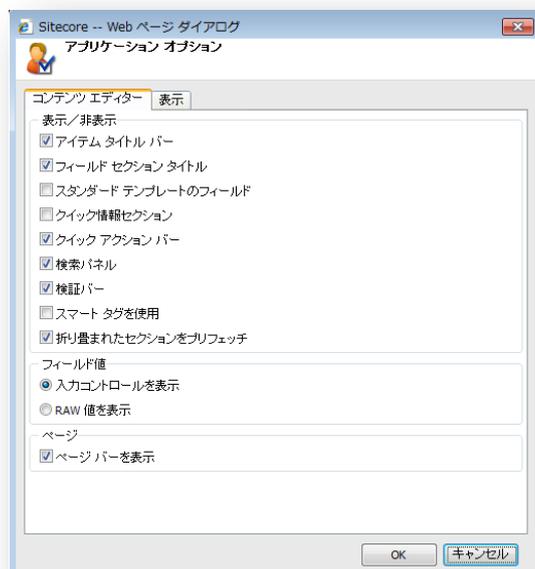
フィードの表示方法の構成を完了すると、RSS フィード アイテムの注意のメッセージは表示されなくなります。

アイテムがもとになっているテンプレートを識別する

コンテンツ作成者には Sitecore のテンプレートへのアクセス権がない場合もあります。コンテンツ作成者はコンテンツ アイテムがもとになっているテンプレートを実は認識していない場合があります。

次の手順に従って、アイテムがどのテンプレートをもとになっているかを識別します:

- コンテンツ エディターで Sitecore ボタン  をクリックし、次に [アプリケーション オプション] をクリックします。



- [アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスで [クイック情報セクション] のチェック ボックスを選択します。
- コンテンツ エディターで対象のアイテムを選択します。

4. [コンテンツ] ウィンドウでアイテムの最上部に [クイック情報] というセクションが表示されます。
5. [クイック情報] セクションを展開します。



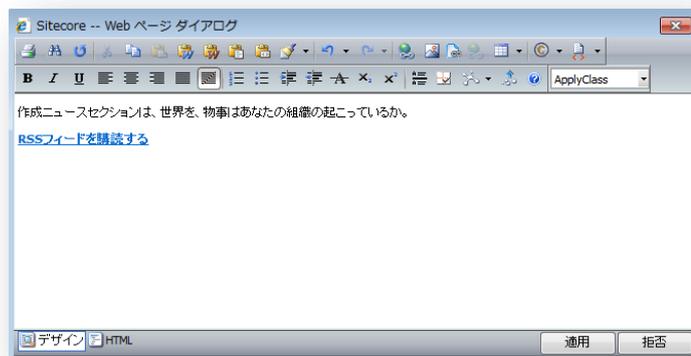
6. そのアイテムがどのテンプレートをもとにしているかが [テンプレート] フィールドに表示されます。

7.1.2 RSS フィードへのリンクを作成する

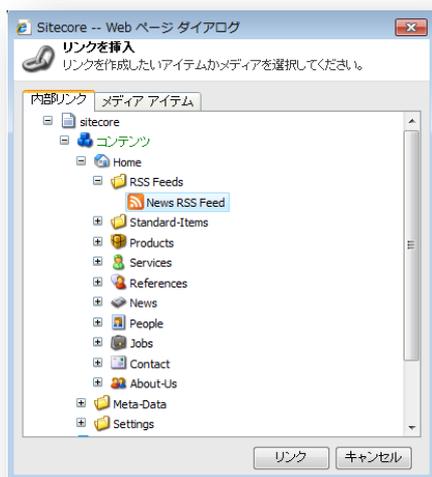
RSS フィードを定義した後に、その親のコンテンツ アイテムへのリンクを作成し、ユーザーがフィードを購読できるようにする必要があります。

次の手順に従って、コンテンツ アイテムへのリンクを追加します：

1. コンテンツ エディターで [News] アイテムを開きます。
2. [テキスト] フィールドまでスクロールし、[エディターを表示] をクリックします。
3. リッチ テキスト エディターでリンクのためのテキストを入力します。



- そのテキストを選択し、Sitecore リンクの挿入ボタン  をクリックします。



- [リンクを挿入] ダイアログ ボックスで、先ほど作成した RSS フィード アイテムに移動します。
- [リンク] をクリックしてリンクを作成します。
- コンテンツ エディターで変更を保存します。

RSS フィードをプレビューする

これで News アイテムへの RSS フィードが作成できました。これをテストして、適切に動作し希望通りに見えるかどうかを確認します。

次の手順に従って、RSS フィードをプレビューします：

- コンテンツ エディターで [News] アイテムを開きます。
- [プレゼンテーション] タブをクリックし、[プレビュー] グループで [プレビュー] をクリックします。

RSS フィードが希望通りに適切に動作することを確認した後に、Web サイトにパブリッシュすることができます。

メモ

行った変更を Web サイト上に反映させるためには、それらのすべてをパブリッシュする必要があります。

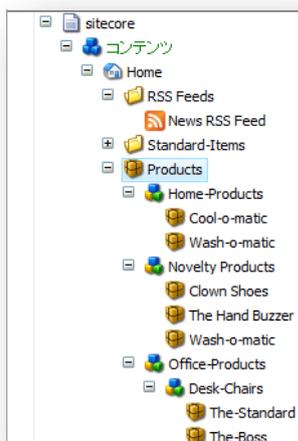
さらに複雑なシナリオ

先述のとおり、サブアイテムが別のテンプレートをもとにしている場合、そのアイテムのそれぞれがフィードでどのように表示されるかを指定する必要があります。そのようなシナリオを確認してみましょう。

たとえば Web サイトで非常に広範な製品のプロモーションを行うとします。お客様に製品ラインの品揃えの変更に関する最新情報を伝えるために製品ページの RSS フィードを作成するとします。

しかし、これらの製品は異なるカテゴリーに分かれており、Web サイトは別のテンプレートを使用しています。

コンテンツ ツリーはこのようになっています:



次の手順に従って、この製品の RSS フィードを作成します:

1. コンテンツ エディターを開きます。
2. [Products] アイテムを選択し、親アイテムであるこのアイテムに RSS フィードを設定します。
3. [Products] アイテムで、アイテムをフィードするリンクを挿入します。
4. 製品カテゴリーの 1 つを選択し、[プレゼンテーション]、[デザイン] とクリックし、このアイテムのフィードの表示を構成します。

別の製品カテゴリーが別のテンプレートを使用している場合には、そのそれぞれで構成します。

5. 製品アイテムの 1 つを選択し、[プレゼンテーション]、[デザイン] とクリックし、その個々の製品アイテムのフィードの表示を構成します。

この場合もやはり、別の製品アイテムが別のテンプレートを使用している場合には、そのそれぞれで構成します。

6. [Products] アイテムを選択し、[プレビュー] をクリックしてフィードのプレビューを確認します。
7. フィードが適切であることを確認した後に、変更したすべてのアイテムをパブリッシュします。

この RSS フィードはすべての製品カテゴリー アイテムと製品アイテムのリストを日付の順に表示します。



7.1.3 RSS フィードを購読する

ビジターが Web サイトにログオンしたときには容易に RSS フィードを購読することができます。

次の手順に従って、RSS フィードを購読します:

1. Internet Explorer で Web サイトを開きます。

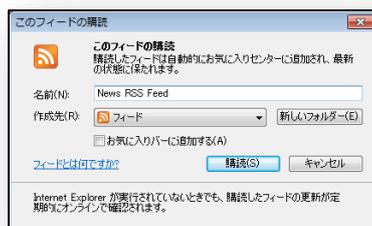
2. RSS フィードを作成したアイテム、[News] ページに移動します。



3. [News] ページで [RSS フィードを購読する] リンクをクリックすると、RSS フィードを表示する新しいページが開きます。



4. RSS フィードのページで、[このフィードを購読する] をクリックします。



5. [このフィードの購読] ダイアログ ボックスで、フィードに名前をつけて、それを保存する場所を指定します。
6. [購読] をクリックして、そのフィードをフィードのリストに追加します。
7. これでこのフィードを購読しました。ブラウザを開き、[お気に入り]、[フィード] とクリックし、次に [News RSS Feed] をクリックしてこの Web サイトの News アイテムのすべてのリストが表示されることを確認します。

7.2 Sitecore クライアント フィード

Sitecore にはコンテンツ作成者または Sitecore の他のユーザーが購読できるいくつかのクライアント フィードがあります。

Sitecore には次のクライアント フィードがあります：

- コンテンツ アイテム フィード
- ワークフロー フィード
- ワークフロー状態フィード

これらのクライアント フィードはそのアイテムに依存し、またワークフローに依存します。

ワークフローについての情報は、Chapter 8 の「コンテンツ エディターのワークフロー」を参照してください。

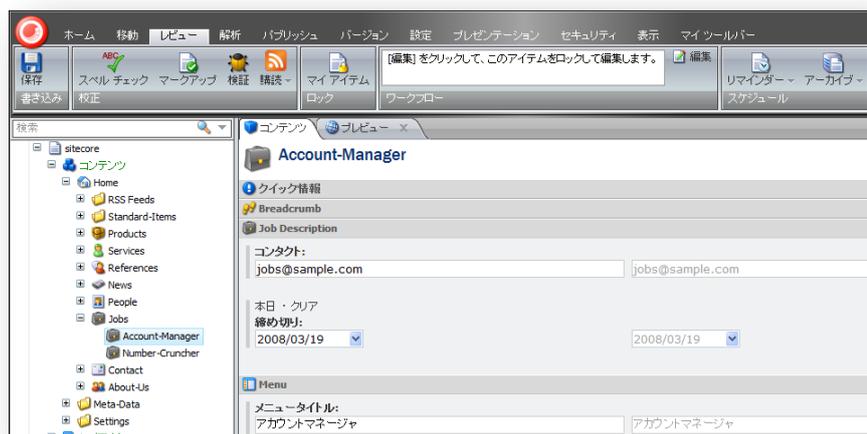
7.2.1 アイテム フィード

Sitecore のアイテムの RSS フィードを購読して、そのアイテムに発生したすべての変更について通知されるようにすることができます。コンテンツ エディターのコンテンツ ツリー上の任意のアイテムのフィードを購読することができます。しかしフィードには、そのアイテムがもとになっているテンプレートがワークフローに従っている場合に有益な情報のみが含まれています。

次の手順に従って、Sitecore のアイテム フィードを購読します：

1. コンテンツ エディターで対象のアイテムに移動します。

この例では、人事マネージャーとして、求人に関するアイテムのテキストが適正であることを、それが Web サイトにパブリッシュされる前に確認したいものとします。したがってその特定のアイテムの RSS フィードを購読します。



2. [レビュー] タブをクリックし、[校正] グループで [購読] をクリックします。



3. 開いた Web ページで [このフィードを購読する] をクリックし、この RSS フィードをお気に入り添加到します。

ご覧のとおり、RSS フィードは現時点ではあまり多くの情報を含んでいません。しかし、コンテンツ作成者がアイテムを編集し、それをワークフローを通して移動させると、フィードにはさらに多くの情報が含まれます。アイテムがコンテンツ作成者によって編集されると、新しいバージョンが作成され、[下書き] ワークフロー状態に置かれます。

数日ののち、人事マネージャーは RSS フィードをチェックしようとしてました。

Internet Explorer の [お気に入り] パネルで [フィード] タブをクリックし、次にアイテムのフィードのリンクをクリックします。



この Web ページはアイテムに関するいくつかの情報を含んでいます。これには次のものがあります：

- アイテムの名前。
- 現在のワークフロー状態。
- そのアイテムのワークフローの履歴

- そのアイテムの新しいバージョンと前のバージョンの相違点を示した表。

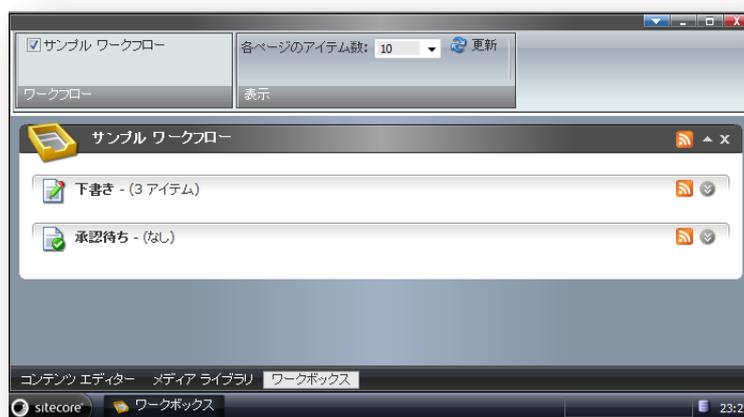
さらに、適切なアクセス権のある場合には、そのアイテムをワークフローに従って進行させるためのいくつかのワークフローコマンドが含まれます。

Sitecore ワークフロー フィード

さらに Sitecore は購読可能ないくつかのワークフロー フィードを提供します。

次の手順に従って、ワークフロー フィードを購読します：

1. ワークボックスを開きます。



2. ワークフロー フィードを購読するには、ワークフローの RSS フィード ボタンをクリックします。

このクライアント フィードはワークフロー全体についての最新情報を提供し、ワークフローのすべてのワークフロー状態にアクセス可能なシステム管理者およびスーパー ユーザーにとって有益です。



3. ワークフロー状態フィードを購読するには、ワークフロー状態の RSS フィード ボタンをクリックします。

このクライアント フィードはこの特定のワークフロー状態に関する最新情報を提供します。このクライアント フィードは特定のワークフロー状態のみにアクセス可能なコンテンツ作成者と管理者にとって有益です。



RSS フィードを使う

ワークフロー フィードを購読すると、その RSS フィードを使用して、アクセス許可をもつタスクを実行することができます。

たとえば、次のフィードを例にとります：



ユーザーは下記のことを行うことができます:

- アイテムを承認または却下します。
- アイテムを承認または却下し、コメントを追加します。
- アイテムを編集します。

[却下 & コメント] をクリックすると、次のページが表示されます:



却下 Account-Manager にコメントを入力してください:

コメントを入力し、[却下] をクリックしてアイテムを前のワークフロー状態に差し戻します。

重要

これらのタスクをログインし直すことなく実行するためには、Sitecore のログイン ページで [Remember me] チェック ボックスを選択しておく必要があります。

[Remember me] チェック ボックスを選択していなかった場合、適切なページに移動される前にログインする必要があります。

7.3 セキュリティとクライアント RSS フィード

RSS 技術は RSS リンクを購読しているユーザーが RSS フィードの URL で指定されたアイテムに直接訪れることができるように設計されています。多くの RSS リーダーはユーザー認証をサポートしていません。これは Sitecore のクライアント RSS フィードを購読しているユーザーは RSS フィードの URL で指定されたアイテムに直接アクセスすることが可能であり、RSS フィードを表示する際には Sitecore のセキュリティ システムから認証を求められないということを意味します。しかし Sitecore のセキュリティ システムはクライアント フィードに関連付けられたアクションを行おうとする際にはユーザーが認証されていることを確認します。

もし他人が RSS フィードの URL にアクセスした場合には、次のようになります:

- リンク先を表示することができ、RSS フィードに含まれるすべてのコンテンツを表示できます。これはそのユーザーがこのアイテムへのセキュリティ アクセス権を持っていない場合でも同様です。
- コンテンツ上からアクションを行うことは、一切できません。
- 他のコンテンツを表示することは、一切できません。
- RSS フィードのもとの所有者のユーザー名やパスワードにアクセスすることはできません。
- リンクを変更して他のコンテンツをアクセスすることはできません。

重要

Sitecore ユーザーは RSS フィードを共有するべきではありません。

RSS フィードに関するセキュリティを強化する方法については、『[サイトコア セキュリティ強化ガイド](#)』を参照してください。

Chapter 8

コンテンツ エディターのワークフロー

この章ではワークフローを使用して何をすることが可能か、また Sitecore はワークフローをどのように実装しているか、について解説します。またレビュー担当者がアイテムのワークフローを進行させる際に使用するワークボックスについても説明します。

- ワークフロー
- ワークボックス

8.1 ワークフロー

ワークフローは Sitecore でコンテンツ アイテムがパブリッシュされるタイミングを制御するために使用できるシステムです。

ワークフローには一連の "状態" を定義することができます。これらの "状態" は、組織内で Web コンテンツを作成するために行われる業務のプロセスと手順を表すものです。たとえば、これらの状態を、コンテンツ アイテムが Web サイトにパブリッシュされる前に通過すべき、作成、レビュー、承認の各段階に対応するものとして定義することができます。

ワークフローはこれらのプロセスと手順を順守徹底し、確実に承認されたコンテンツ アイテムのみがパブリッシュされるようにするための方法です。

ワークフローはいくつかの異なるワークフロー状態を含むことができ、必要に応じて簡素にも複雑にもすることが可能です。コンテンツ アイテムは必ずしも定義されたすべてのワークフロー状態を通過する必要はありません。状態によっては任意選択であったり、特定の種類のコンテンツにのみ適用することもできます。

さらに任意の数の異なるワークフローを実装することができます。各ワークフローはワークフロー最終状態として定義されるワークフロー状態を 1 つ持つ必要があります。

コンテンツ アイテムはいくつかのワークフロー状態を経由したあと、ワークフロー最終状態に達した場合にのみ、パブリッシュされるすることができます。

8.1.1 ワークフローを実装する

ワークフローは通常は開発者によって実装されます。しかしコンテンツ作成者にとってもワークフローの構造と実装を理解することは有益です。

ワークフローには Sitecore コンテンツ ツリーに保存される特別なアイテムがあります。

ワークフローは次のものから構成されます：

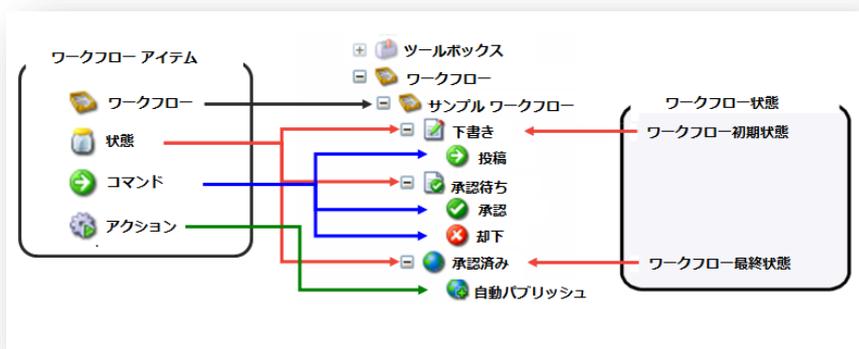
ワークフロー — ワークフローを構成するサブアイテムのすべてを含む、メインのアイテム。

ワークフロー状態 — ワークフローの基本的な構成要素ワークフロー状態はコンテンツの作成プロセスの異なる状態を表します。ワークフローに従うコンテンツ アイテムはワークフロー初期状態から開始し、ワークフロー最終状態で終了します。

ワークフロー コマンド — コンテンツ アイテムをあるワークフロー状態から別のワークフロー状態に移動するために、さまざまな操作者によって行われるアクション。

ワークフロー アクション — コンテンツ アイテムが特定のワークフロー状態にあるときに、または特定のワークフロー コマンドが実行されたときに、コンテンツ アイテムに自動的に実行されるアクション。

ワークフローの例を下記に示します:



ワークフローが定義された後に開発者はどのアイテム テンプレートがワークフローに従うかを指定します。これが行われると、コンテンツ作成者がそれらのテンプレートをもとにしているコンテンツ アイテムを作成または編集する都度、そのコンテンツ アイテムはこのワークフローのワークフロー初期状態に送信されます。

重要

コンテンツ アイテムはワークフロー最終状態にある場合にのみパブリッシュ可能です。

8.1.2 ワークフローを使う

ワークフローが実装された後は、コンテンツ作成者は作成または編集したコンテンツ アイテムを、それがパブリッシュされる前に、ワークフローを通じて送信する必要があります。

新しいコンテンツ アイテムを作成すると、それは自動的にワークフロー初期状態に配置されます。そのコンテンツ アイテムは、それを別のワークフロー状態に移動させるワークフロー コマンドが使用されるまで、そのワークフロー初期状態にとどまり続けます。

ワークフローに従う既存のコンテンツ アイテムを編集した場合、Sitecore はそのコンテンツ アイテムの新しいバージョンを作成し、それをワークフロー初期状態に配置します。そのコンテンツ アイテムをあとで再び編集した場合、特に別のバージョンを指定しない限り、ワークフロー上のバージョンを編集することになります。

重要

システム管理者によって編集されたコンテンツ アイテムはワークフローに従いません。

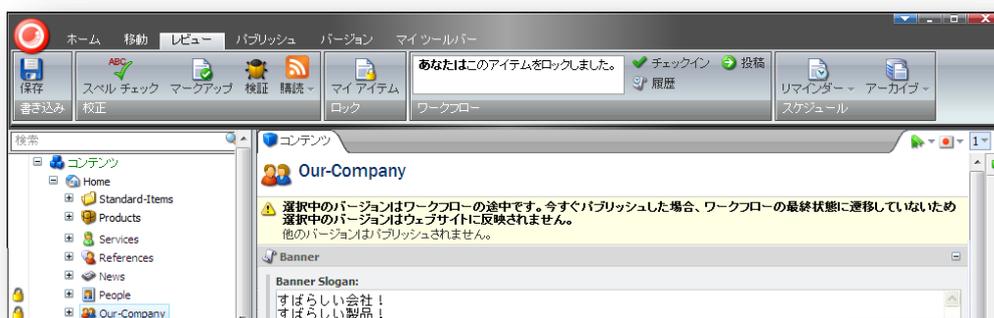
ワークフローに沿ってコンテンツ アイテムを送信する

コンテンツ アイテムの編集を終了した後に、それを次のワークフロー状態に送信することができます。

次の手順に従って、コンテンツ アイテムを次のワークフロー状態に送信します:

1. コンテンツ エディターで編集するコンテンツ アイテムを開きます。

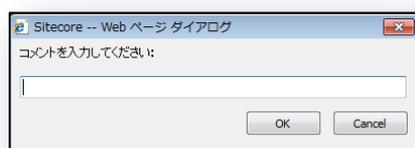
2. ワークフローに送信する準備ができれば、[レビュー] タブをクリックします。



ご覧のとおり、[ワークフロー] グループには 1 つのワークフロー コマンド [投稿] が表示されています。これは現在のコンテンツ アイテムに対してそのワークフロー状態において適用できるただ 1 つのワークフロー コマンドです。

さらに、このコンテンツ アイテムはワークフローの最終状態に遷移していないため、パブリッシュすることができないということを知らせるメッセージを表示しています。

3. [投稿] をクリックし、コンテンツ アイテムをつぎのワークフロー状態に送信します。コメントを入力するためのダイアログ ボックスが表示されます:



4. コメントを入力するとコンテンツ アイテムは次のワークフロー状態に移動されます。

[ワークフロー] グループで利用できるワークフロー コマンドは、アイテムの新しい状態を反映して変化します。



しかしワークフロー状態のコンテンツ アイテムを編集するためのアクセス権がない場合には、そのアイテムを編集のためにロックすることができず、ワークフロー コマンドは表示されません。

さらに Sitecore にはワークボックスというツールがあります。ワークボックスはレビュー担当者がワークフローにあるすべてのコンテンツ アイテムの状況を知るためのツールです。

8.2 ワークボックス

ワークボックスはレビュー担当者と管理者が必要な業務の概況を知ることのできるツールです。

ワークボックスを使用する

コンテンツ アイテムをレビューする場合、ワークボックスを使うと現在ワークフローにあるすべてのコンテンツ アイテムを参照してそれらがどのワークフロー状態にあるかを知ることができます。

次の手順に従って、ワークボックスを使用します：

1. Sitecore デスクトップにログインします。
2. [Sitecore]、[ワークボックス] とクリックします。



ワークボックス では [サンプル ワークフロー] が選択されており、すべての関連するワークフロー状態を参照できます。1 つのコンテンツ アイテムが [承認待ち] ワークフロー状態にあります。

3. すべてのワークフロー状態において、各コンテンツ アイテムをプレビューしたり、開いたり、比較することができます。またそのワークフロー状態に定義されたワークフロー コマンドを適用することができます。

[承認待ち] ワークフロー状態では、レビュー担当者はコンテンツ アイテムを承認または却下することができます。

アイテムをプレビューする

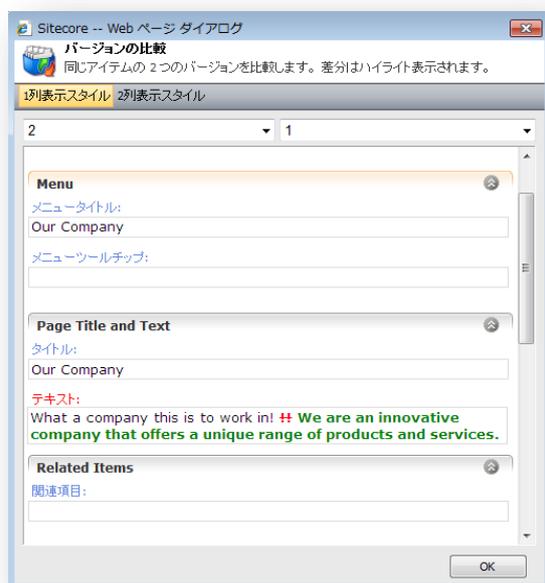
ワークフロー状態にあるコンテンツ アイテムのバージョンをプレビューするには、[プレビュー] をクリックすると、そのアイテムのこのバージョンが新しいブラウザ ウィンドウに表示されます。

アイテムを開く

コンテンツ アイテムを開くには、[開く] をクリックするとアイテムがコンテンツ エディターで開きます。

アイテムを比較する

コンテンツ アイテムの変更点を確認するには、[比較を表示する] をクリックします。



[バージョンの比較] ダイアログ ボックスが開き、アイテムのこのバージョンでの変更点を表示します。どのバージョンを比較するか、また 1 列または 2 列のどちらで表示するかを選択することができます。

アイテムを承認または却下する

コンテンツ アイテムをレビューした後、[承認] または [却下] をクリックして適切なワークフロー状態に移動させます。

複数のワークフロー

1 つ以上のワークフローを実装した場合、それらを同時に表示することができます。またはワークボックスで別のワークフローに切り替えることができます。



ワークボックスでワークフローを表示または非表示にするには、[ワークフロー] グループのチェック ボックスを選択またはクリアします。各ワークフローとワークフロー状態を展開または折りたたむことができます。

Chapter 9

インターフェースのカスタマイズ

Sitecore のインターフェースは変更することが可能です。この章では使用できる画面スペースを拡大し、コンテンツ エディターとページ エディターのインターフェースをカスタマイズする方法を説明します。Sitecore デスクトップをカスタマイズする方法についても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- ブラウザーを使う
- コンテンツ エディターをカスタマイズする
- ページ エディターをカスタマイズする

9.1 ブラウザーを使う

Sitecore のインターフェースとプログラムはすべて通常の Web ブラウザーに表示されます。

9.1.1 全画面表示モード

画面上にある多くの要素が邪魔であったり、画面の小さなコンピューターを使っている場合などに、編集中の Web ページやアイテムをもっとよく見たい場合には、ブラウザー インターフェースを全画面表示モードにすることで画面を広く使えます。

全画面表示モードに切り替えるには、F11 を押します。これによってブラウザー ウィンドウは画面全体に拡大し、タイトルバー、メニュー、ツール バー、ステータス バーなどのブラウザーのユーザー インターフェースを非表示にします。

非表示となったユーザー インターフェースの一部を使用する際には、マウスを画面の上部に移動します。F11 を再度押すと、非表示となったブラウザー ユーザー インターフェースを復元し、全画面表示モードを終了します。

9.1.2 Sitecore デスクトップ

Sitecore デスクトップ アプリケーションを使用する際には、設定を変更して Sitecore の外見を変更したり、その他の設定をカスタマイズしてニーズに対応することが可能です。

Sitecore デスクトップでは下記のことが可能です：

- デスクトップの背景を変更する。
- パスワードを変更する。
- アプリケーション オプションを変更する。
- 個人情報を変更する。
- 言語設定を変更する。

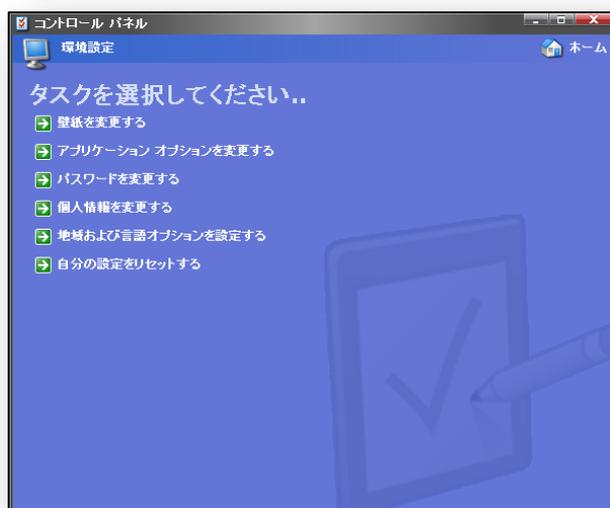
デスクトップの背景を変更する

Sitecore デスクトップにログインしたときにデスクトップの背景として表示される画像を変更することが可能です。

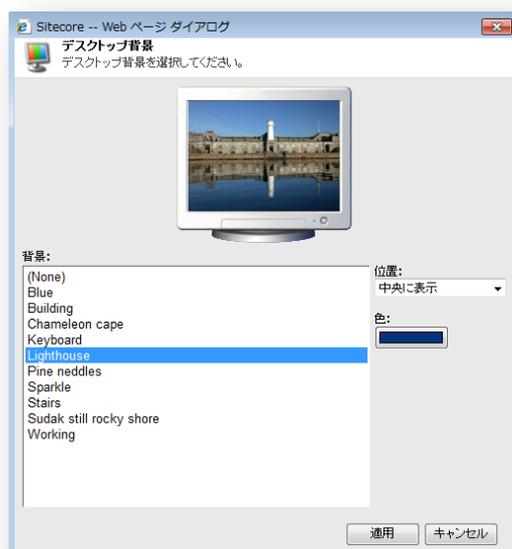
次の手順に従って、デスクトップの背景を変更します：

1. デスクトップにログインします。

2. Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロール パネル]、[環境設定] とクリックします。



3. [環境設定] ダイアログ ボックスで [壁紙を変更する] をクリックします。

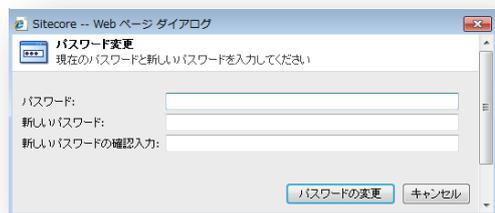


4. [背景] フィールドで使用する画像を選択します。
5. [位置] フィールドでドロップダウン矢印を使用して画像をデスクトップに配置する方法を選択します。
6. [色] フィールドで画像が全画面でない場合に画像の周囲となる色を選択します。

パスワードを変更する

次の手順に従って、パスワードを変更します:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロール パネル]、[環境設定] とクリックします。
2. [環境設定] ダイアログ ボックスで [パスワードを変更する] をクリックします。



3. [パスワード変更] ダイアログ ボックスで現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。

または Sitecore のログイン ページでパスワードを変更することも可能です。

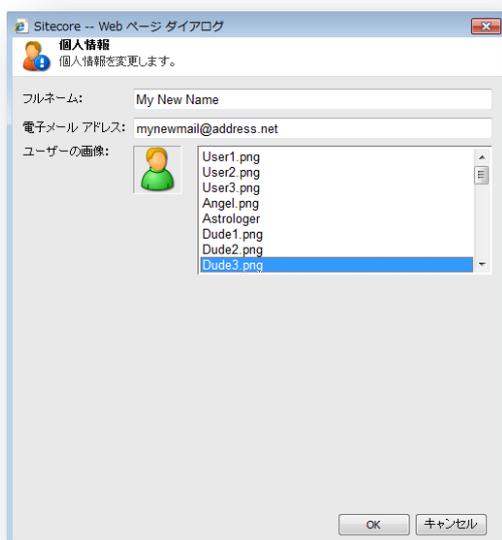


個人情報を変更する

次の手順に従って、個人情報を変更します:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロール パネル]、[環境設定] とクリックします。

2. [環境設定] ダイアログ ボックスで [個人情報を変更する] をクリックします。

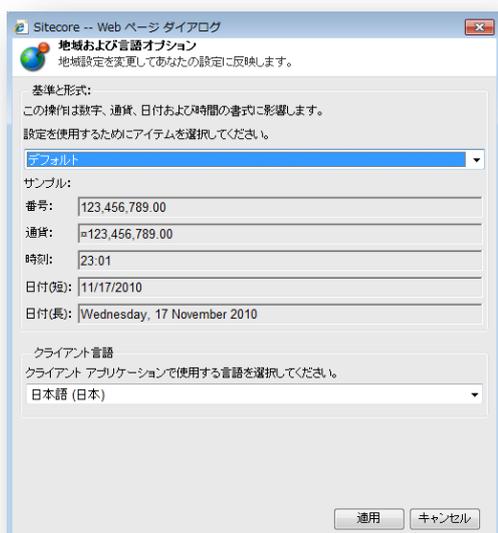


3. [個人情報] ダイアログ ボックスで、フルネーム、電子メール アドレス、Sitecore で使われるユーザーの画像を変更することができます。

地域および言語オプションを変更する

次の手順に従って、地域および言語オプションを変更します:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロール パネル]、[環境設定] とクリックします。
2. [環境設定] ダイアログ ボックスで [地域および言語オプションを設定する] をクリックします。



3. [地域および言語オプション] ダイアログ ボックスでは次のことが可能です。
 - 使用する数字、通貨、日付、時間の書式を選択する。
 - クライアント アプリケーションで使用する言語を選択する。

デフォルトの設定を使う

次の手順に従って、デフォルトの設定を使用します:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロール パネル]、[環境設定] とクリックします。
2. [環境設定] ダイアログ ボックスで [自分の設定をリセットする] をクリックします。

9.2 コンテンツ エディターをカスタマイズする

コンテンツ エディターには多くのカスタマイズ可能なユーザー インターフェース要素があります。

たとえば、次の方法によって作業スペースを広げることができます：

- リボンをカスタマイズする。
- コンテンツ ツリーをカスタマイズする。
- 編集ウィンドウのサイズを変更する。

9.2.1 リボンをカスタマイズする

いくつかの方法でリボンをカスタマイズすることができます。

次のことを行うことが可能です：

- リボンを非表示にする。
- タブを非表示にする。
- 自分用のツールバーを作成する。

リボンを非表示にする

次の手順に従って、コンテンツ エディターのリボンを非表示にします：

1. 任意のタブをダブルクリックすると、リボンが非表示になります。



リボンは非表示になりましたが、タブは表示されています。

2. タブをクリックしてそのタブを開くと、リボンが表示されます。

タブを非表示にする

コンテンツ エディターでどのタブを表示するかを指定することもできます。

次の手順に従って、タブを非表示にします:

1. リボンの任意の場所で右クリックし、ダイアログ ボックスを開きます。



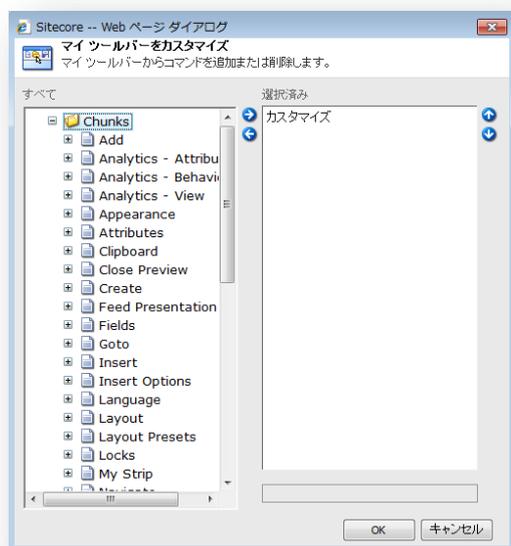
2. チェック ボックスを選択またはクリアして、コンテンツ エディターで表示するタブを決定します。
3. デフォルトのタブの選択を復元するには、[リセット] をクリックします。

自分用のツールバーを作成する

自分が必要なツールと機能だけを含む自分用のツールバーを作成することも可能です。

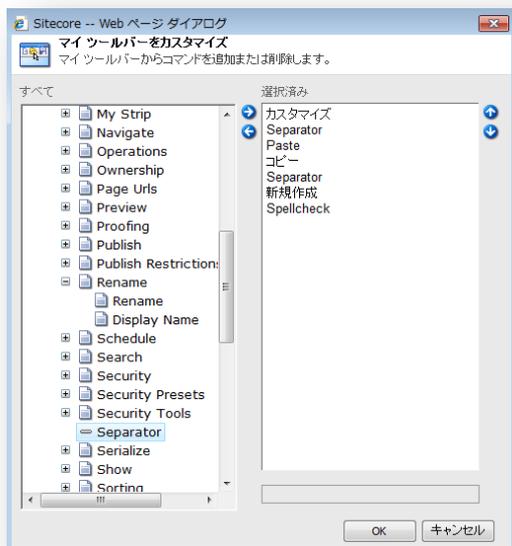
次の手順に従って、自分用のツールバーを作成します:

1. リボンの任意の場所で右クリックし、[カスタマイズ] をクリックすると [マイ ツールバーのカスタマイズ] ダイアログ ボックスが開きます。



1. [すべて] のウィンドウでグループを展開して、自分のツールバーで必要なコマンドを選択します。

コマンドを選択することが可能ですが、グループを選択することはできません。Separator (間仕切り) を挿入してグループに分割し、上下の矢印を使ってコマンドを希望の順序に配置することが可能です。



2. 終了した後に [OK] をクリックします。
3. リボンで右クリックして [タブ] ダイアログ ボックスを開き、[マイ ツールバー] タブを選択します。このタブはリボンに追加され、そこには選択したすべてのコマンドが含まれています。



9.2.2 コンテンツ ツリーをカスタマイズする

コンテンツ エディターでは、コンテンツ ツリー ウィンドウのサイズを変更したり、コンテンツ ツリー全体を非表示にすることが容易に可能です。

コンテンツ ツリーを非表示にする

次の手順に従って、コンテンツ ツリーを非表示にします：

1. コンテンツ エディターで [表示] タブをクリックします。



2. [コンテンツ ツリー] チェック ボックスをクリアしてコンテンツ ツリーを非表示にします。
3. [ツリー全体] チェック ボックスをクリアしてコンテンツ ツリーのルート (Sitecore) とメディア ライブラリを非表示にします。このビューによってユーザーは自分の Web サイトのアイテムのみを参照できることになります。
4. [隠しアイテム] チェック ボックスをクリアしてコンテンツ ツリーに表示されているいくつかのシステム アイテムを非表示にします。

他の 2 つの設定、[RAW 値] と [スタンダード フィールド] はシステム管理者向けです。

コンテンツ ツリーのサイズを変更する

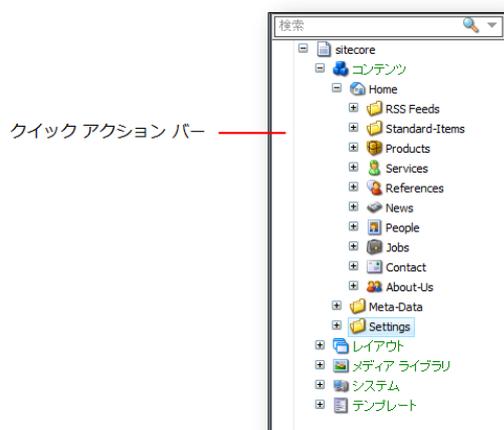
コンテンツ ツリーのサイズを変更することも可能です。これはアイテムを探す場合やウィンドウが場所をとっている場合に役立ちます。

次の手順に従って、コンテンツ ツリーのサイズを変更します:

1. コンテンツ エディターで、マウスを [コンテンツ ツリー] と [編集] ウィンドウの間のバーの上に移動します。
2. バーをドラッグして左右に動かし、ウィンドウの要素のサイズを変更します。

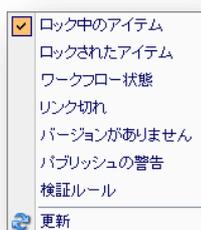
クイック アクション バーを構成する

クイック アクション バーはコンテンツ ツリーの脇に存在し、コンテンツ作成者やシステム管理者に有益な情報を表示するために使用されます。



次の手順に従って、クイック アクション バーを構成します:

1. クイック アクション バーを右クリックすると、表示可能な要素のリストが表示されます。



2. メニューのアイテムをクリックし、アイテムの横にアイコンを表示させたり、非表示にしたりします。

次のアイテムを選択することが可能です:

メニュー アイテム	内容
ロック中のアイテム	自分がロックしたアイテム。
ロックされたアイテム	他のユーザーによってロックされたアイテムとロックしたユーザー名。
ワークフロー状態	そのアイテムのワークフロー状態。
リンク切れ	リンク切れを含むアイテム。
バージョンがありません	バージョンのないアイテム。
パブリッシュの警告	パブリッシュの警告のあるアイテム。
検証ルール	検証エラーを含むアイテム。

メモ

このメニューで表示されるアイテムは環境によって異なる場合があります。これは Sitecore システム管理者によって制御されます。

このオプションはいくつでも選択することが可能です。これらのオプションのそれぞれにはパフォーマンスのオーバーヘッドがかかります。

重要

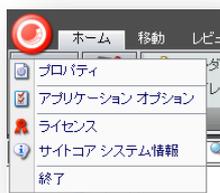
[検証ルール] と [リンク切れ] のオプションはクイック アクション バーのオプションの中で最も負荷の高いものです。コンテンツ ツリーでアイテムを開く都度、クライアントはこれらのオプションを更新するためにサーバーを呼び出す必要があります。

9.2.3 アプリケーション オプションを変更する

コンテンツ エディターを使用する際、コンテンツ エディターのアプリケーションのどの要素が表示されるかを指定することができます。

次の手順に従って、コンテンツ エディターを構成します:

1. コンテンツ エディターで左上隅の Sitecore ボタンをクリックします。



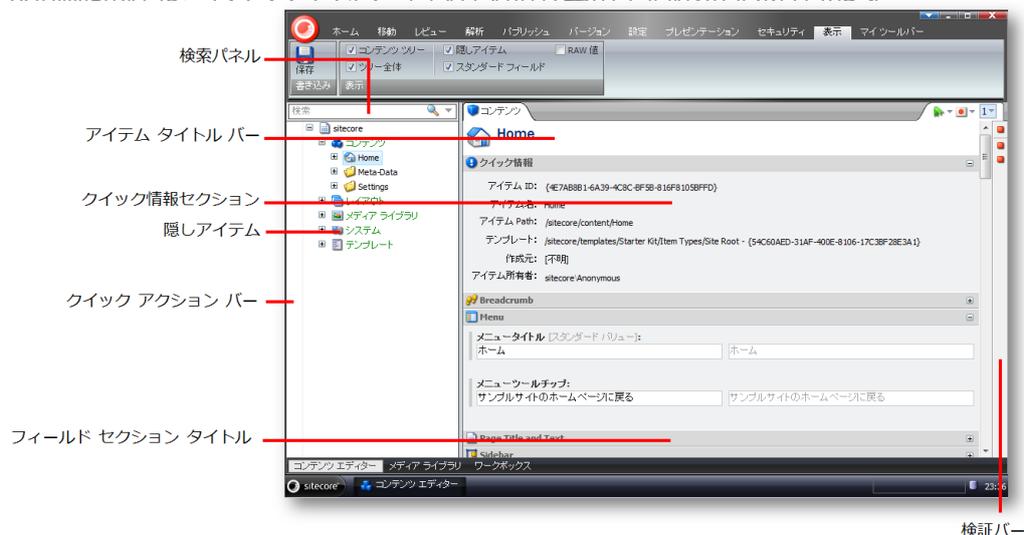
または、Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロール パネル]、[環境設定] とクリックします。

2. [アプリケーション オプション] をクリックすると、[アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスが開きます。



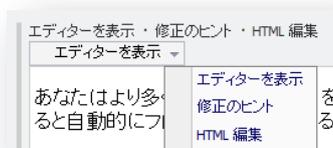
3. チェック ボックスを選択またはクリアして、それらの要素を表示または非表示にします。

次の画面例では コンテンツ エディターでそれぞれの要素がどこにあるかを示しています。



[表示/非表示] セクションのその他の要素には下記のものがあります:

- スタンダード テンプレートのフィールド — このオプションを選択すると Sitecore 内部で使用される多数のフィールドを表示します。それらはパフォーマンスの改善のために非表示になっています。
- スマート タグを使用 — フィールドに関連付けられているコマンドを表示するもう一つの方法です。



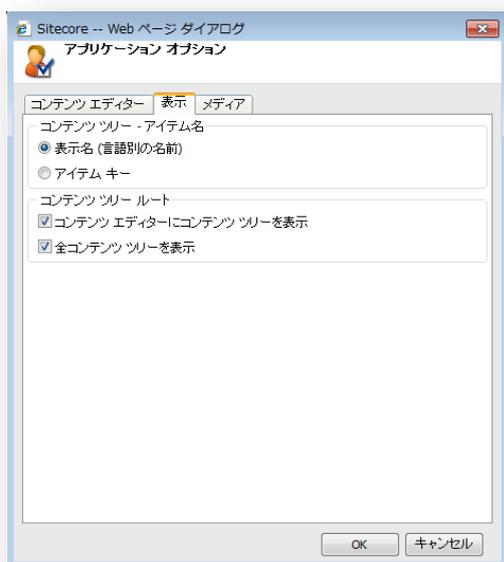
- 折り畳まれたセクションをプリフェッチ — セクションが開かれる以前にシステムがフィールド セクションからフィールドをフェッチしインメモリに置きます。

[コンテンツ エディター] タブの他の重要なオプションは [ページ] セクションの [ページ バーを表示] です。

このオプションは Sitecore アプリケーションへのショートカットを画面の最下部に表示するかどうかを指定します。



[アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスの [表示] タブにはさらにいくつかのオプションがあります。



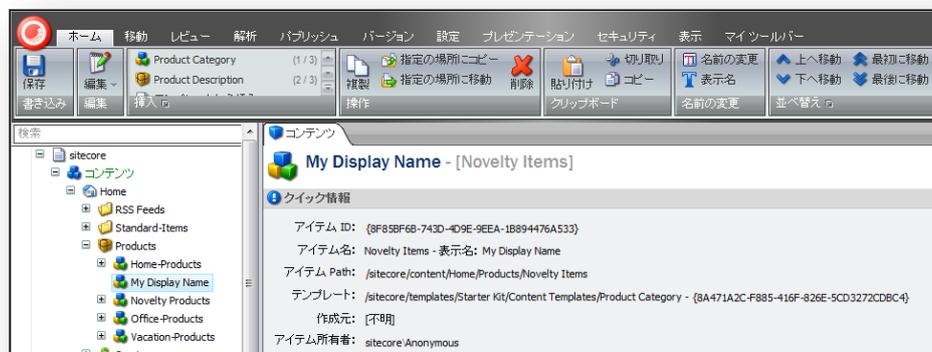
[コンテンツ ツリー - アイテム名] セクションでは、コンテンツ ツリーで、各アイテムがもつキーを表示するか、またはアイテムについて言語特有に命名できる表示名を表示するかを指定します。

[コンテンツ ツリー ルート] セクションでは、コンテンツ エディターにコンテンツ ツリーを表示するかどうか、全コンテンツ ツリーを表示するかどうか、を指定します。

アイテムの表示名を設定する

次の手順に従って、アイテムの表示名を設定します。

1. コンテンツ エディターで、コンテンツ ツリーのアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [名前の変更] グループで [表示名] をクリックします。
3. ダイアログ ボックスが表示されたら、表示する名前を入力します。
4. コンテンツ ツリーを更新すると、表示名が表示されます。



[コンテンツ] ウィンドウで、表示名のあとにキーが表示されます。
さらに、表示名はパブリッシュされた Web サイトのアイテムにも使用されます。

9.3 ページ エディターをカスタマイズする

ページ エディターをカスタマイズすることも可能です。しかしページ エディターの機能は限定的なので、変更できる部分は多くありません。

9.3.1 リボンを使う

ユーザーがページ エディターで利用できる機能はサイト管理者によって割り当てられたロールによって決まります。

リボンを非表示にする

ページ エディターのもつ機能に限定的なアクセス権のみをもつ場合、リボンを非表示にして作業スペースを広くとりたい場合があります。

次の手順に従って、リボンを非表示にします：

1. ページ エディターにログインします。



2. 画面の最上部の [リボン] ボタンをクリックしてリボンを非表示にします。
3. リボンが必要な場合には、[リボン] をクリックするとリボンが再度表示されます。

インターフェースを変更する

ページ エディターのより多くの機能にアクセス権がある場合、編集可能なアイテムをページ エディターが表示する方法を変更することができます。

次の手順に従って、インターフェースを変更します：

1. ページ エディターにログインします。



2. ページ エディターで [表示] タブをクリックします。



3. [表示] タブで次のものを選択またはクリアします:

- アイテムが編集可能かどうかを指定します。
- 編集可能アイテムがフローティング フレームで表示されるかどうか。
- 編集可能アイテムの横にドットを表示するかどうか。